

鎌倉市
(仮称) 鎌倉市こども計画 (第3期鎌倉市
子ども・子育てきらきらプラン)
の策定に向けたアンケート調査
結果報告書
【概要版】

令和6年(2024年)3月

鎌 倉 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	就学前児童の保護者	3
2	小学生から高校生等の保護者	42
3	こども（小学6年生～高校生等）本人	65
III	自由意見	87
1	就学前児童の保護者	87
2	小学生から高校生等の保護者	88
3	こども（小学6年生～高校生等）本人	89
IV	まとめ	90
1	就学前児童の保護者	90
2	小学生から高校生等の保護者	92
3	こども（小学6年生～高校生等）本人	94

※本編とタイトル名・番号及び設問番号を合わせているため、連番等になっていないところがあります。

I 調査の概要

1 調査の目的

「子どもが健やかに育つまち 子育ての喜びが実感できるまち 子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」を基本理念とした「第2期鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン（令和2年度～6年度）」の計画期間が令和6年度で終了することから、次期計画として「（仮称）鎌倉市こども計画（第3期鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン）」を策定するための基礎資料として調査を実施するものです。

2 調査対象

次の（1）から（3）の対象者より無作為に抽出しました。

（1）就学前児童の保護者

令和5年（2023年）4月1日時点で0～5歳の子どものいる保護者

（2）小学生から高校生等の保護者

令和5年（2023年）4月1日時点で6～17歳の子どものいる保護者

（3）小学6年生から高校生等

令和5年（2023年）4月1日時点で11～17歳の子ども本人

3 調査期間

令和6年（2024年）1月～令和6年（2024年）2月

4 調査方法

郵送による配布・回収、WEBによる調査

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	3,000通	1,554通	51.8%
小学生から高校生等の保護者	3,000通	1,585通	52.8%
小学6年生から高校生等	3,000通	1,424通	47.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答率は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

1 就学前児童の保護者

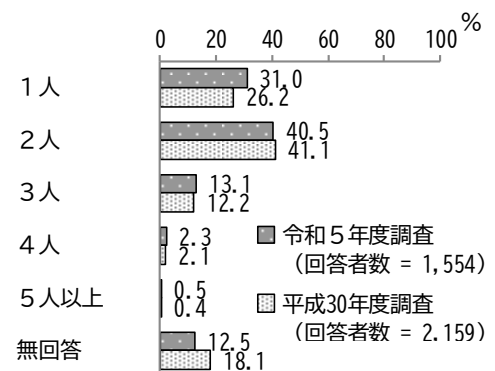
(1) ご家族の状況について

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんを含めた人数と生年月を記入してください。また、3人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番大きいお子さんと一番小さいお子さんの生年月を記入してください。なお、お子さんが一人の場合は、一番大きいお子さんの生年月の欄に記入してください。元号は1つに○ 数字は一枠に一字)

きょうだい数

「2人」の割合が40.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が31.0%、「3人」の割合が13.1%となっています。

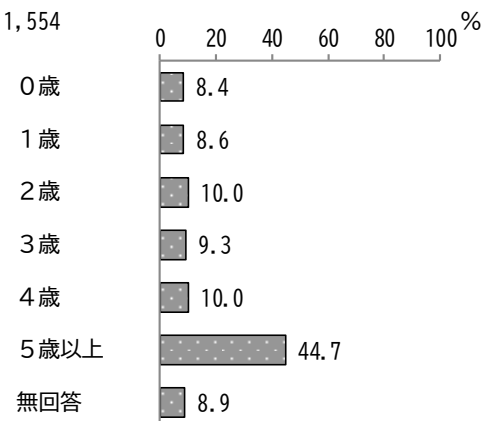
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



一番大きいお子さんの年齢

「5歳以上」の割合が44.7%と最も高く、次いで「2歳」、「4歳」の割合が10.0%となっています。

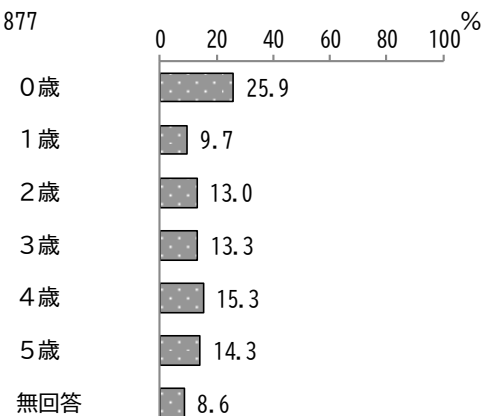
回答者数 = 1,554



一番小さいお子さんの年齢

「0歳」の割合が25.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が15.3%、「5歳」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 877



(2) 保護者の就労状況について

問6 保護者（宛名のお子さん）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（①父親【母子家庭の場合は記入は不要】、②母親【父子家庭の場合は記入は不要】それぞれ、あてはまる番号1つに○）

①父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が96.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

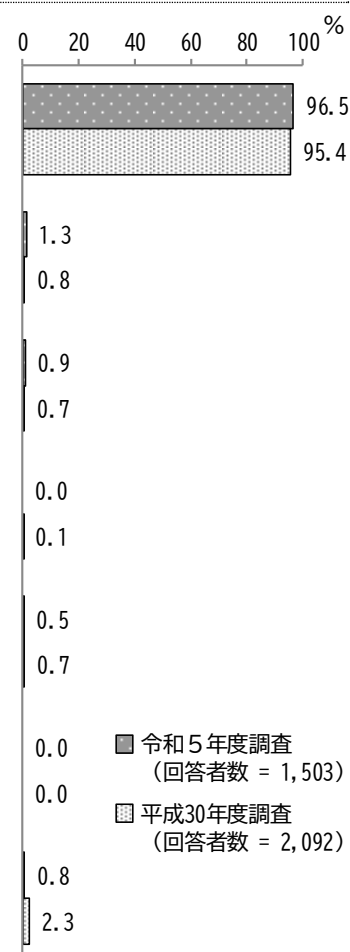
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	1,503	96.5	1.3	0.9	—	0.5	—	0.8
0歳	129	94.6	3.1	1.6	—	0.8	—	—
1歳	130	92.3	5.4	0.8	—	—	—	1.5
2歳	152	96.1	2.0	1.3	—	0.7	—	—
3歳	143	98.6	0.7	—	—	0.7	—	—
4歳	144	97.9	0.7	0.7	—	—	—	0.7
5歳以上	672	97.3	0.6	0.4	—	0.6	—	1.0

②母親

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 25.8%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 20.6%となっています。

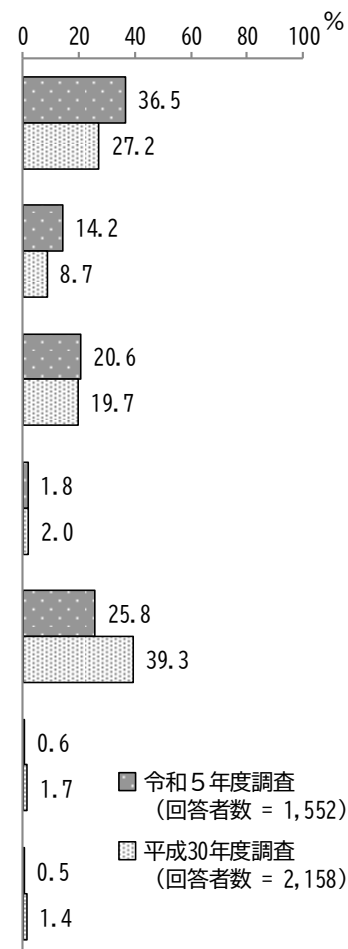
平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



【年齢別】

年齢別にみると、０歳で「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	1,552	36.5	14.2	20.6	1.8	25.8	0.6	0.5
0歳	131	20.6	53.4	7.6	3.1	14.5	0.8	—
1歳	133	35.3	27.1	12.0	4.5	21.1	—	—
2歳	155	37.4	22.6	14.8	2.6	22.6	—	—
3歳	145	37.9	15.9	15.9	2.1	26.9	1.4	—
4歳	155	37.4	7.7	22.6	1.9	29.7	0.6	—
5歳以上	694	38.8	4.2	27.2	1.0	27.8	0.6	0.4

問6-3 問6で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問7へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

①父親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が61.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.1%となっています。

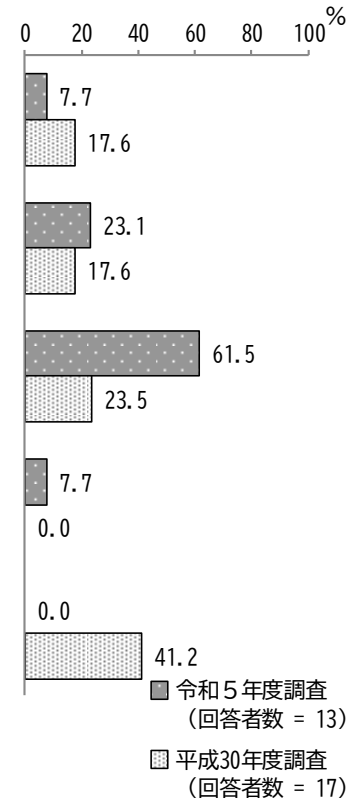
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



②母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が52.4%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.7%となっています。

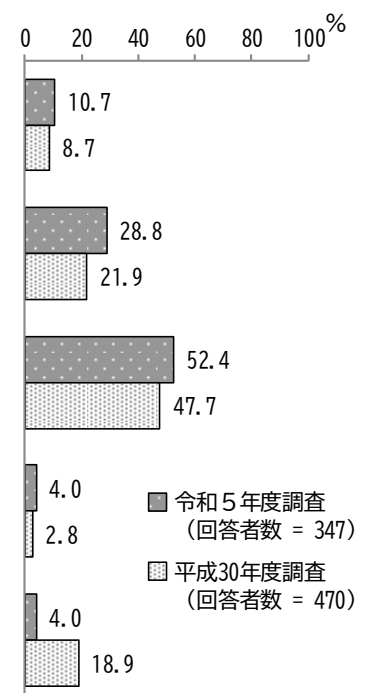
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

無回答

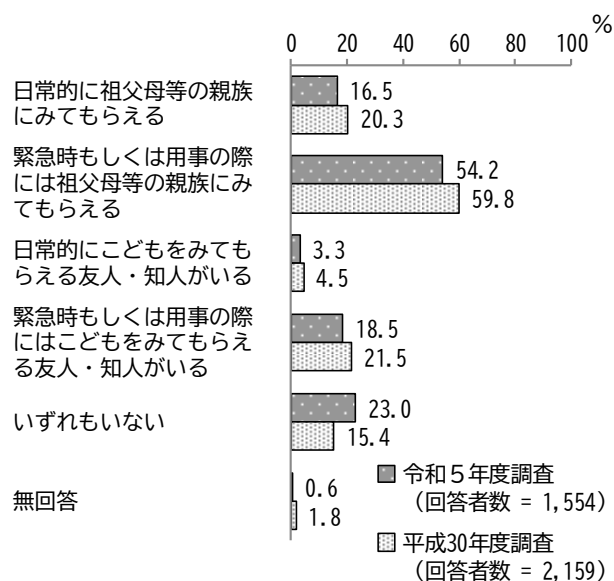


(3) 子育て環境について

問12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が23.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.5%となっています。

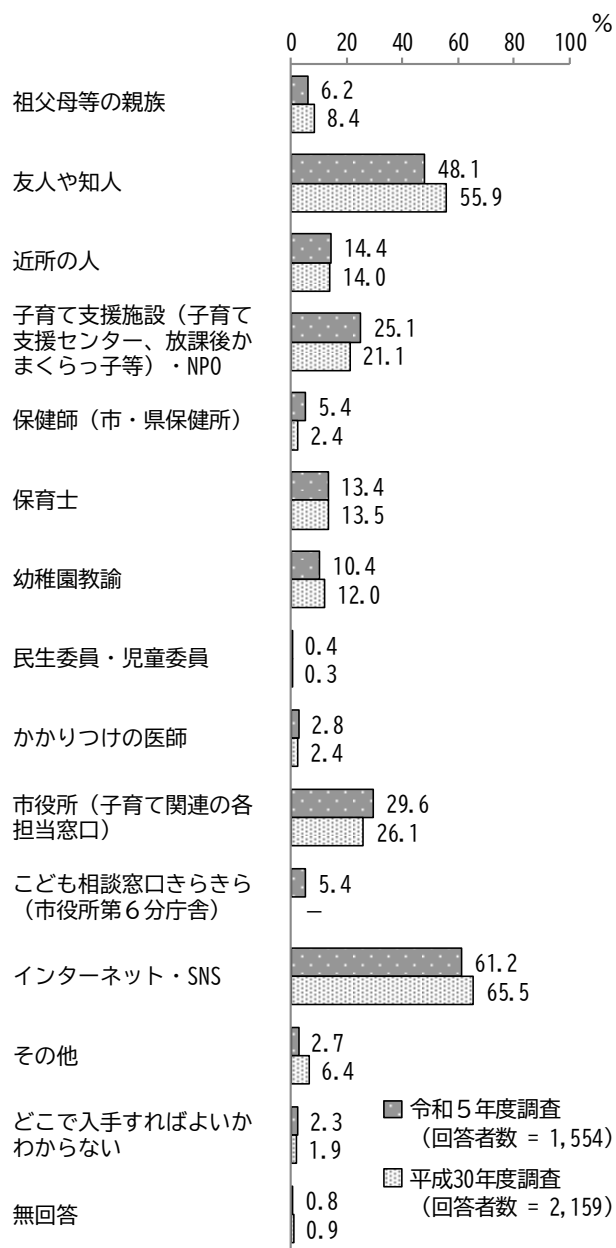
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。



問 14 子育て支援サービスや幼稚園・保育所の利用方法、各種手当の申請方法など、子育てに関する情報を誰から、あるいはどこで入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「インターネット・SNS」の割合が61.2%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が48.1%、「市役所（子育て関連の各担当窓口）」の割合が29.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。

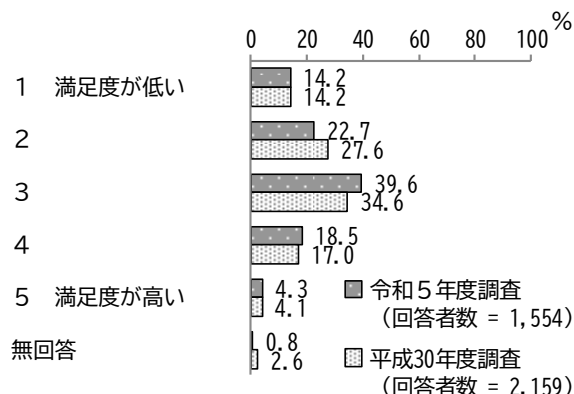


※前回調査では、「こども相談窓口きらきら（市役所第6分庁舎）」の選択肢はありませんでした。

問 15 お住まいの地域（冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域）における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。
（あてはまる番号1つに○）

「3」の割合が39.6%と最も高く、次いで「2」の割合が22.7%、「4」の割合が18.5%となっています。

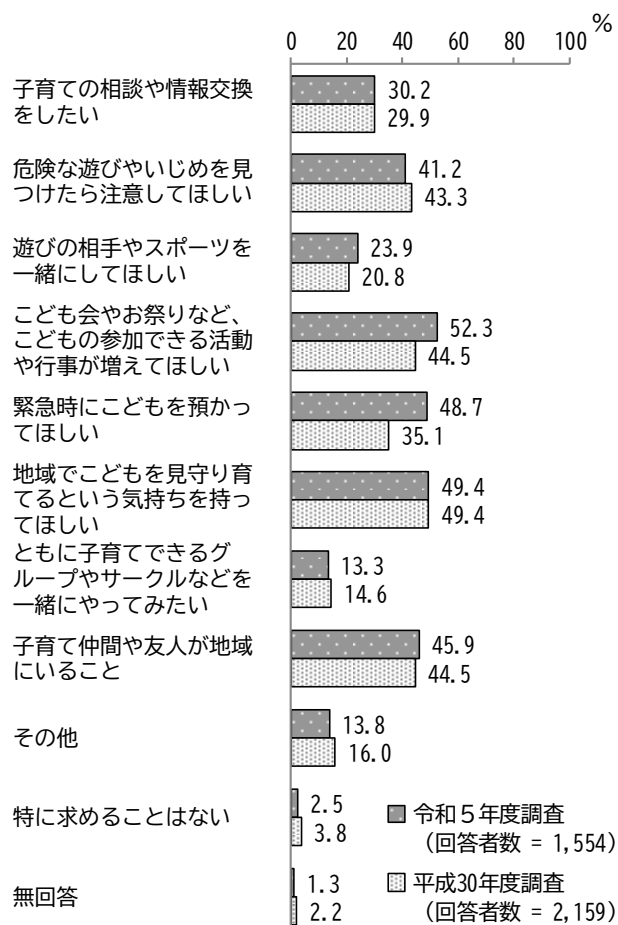
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16 子育てをするにあたって、地域に求めることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「子ども会やお祭りなど、こどもの参加できる活動や行事が増えてほしい」の割合が52.3%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」の割合が49.4%、「緊急時に子どもを預かってほしい」の割合が48.7%となっています。

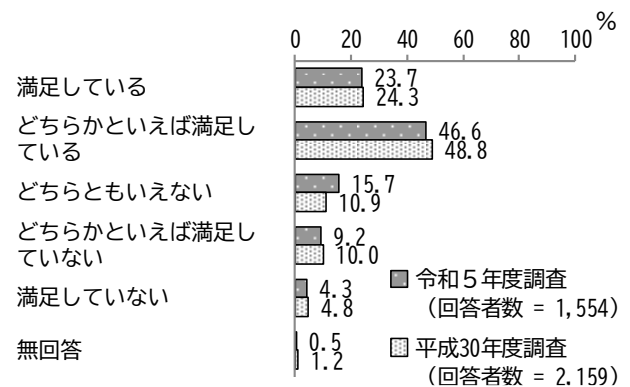
平成30年度調査と比較すると、「子ども会やお祭りなど、こどもの参加できる活動や行事が増えてほしい」「緊急時に子どもを預かってほしい」の割合が増加しています。



問 17 あなたは、こどもを育てている現在の生活に満足していますか。
(あてはまる番号1つに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が
46.6%と最も高く、次いで「満足している」の割
合が 23.7%、「どちらともいえない」の割合が
15.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。

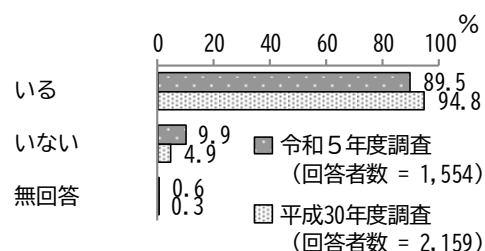


(4) 子育ての悩みや相談について

問 18 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。（あてはまる番号 1 つに○）

「いる」の割合が 89.5%、「いない」の割合が 9.9%となっています。

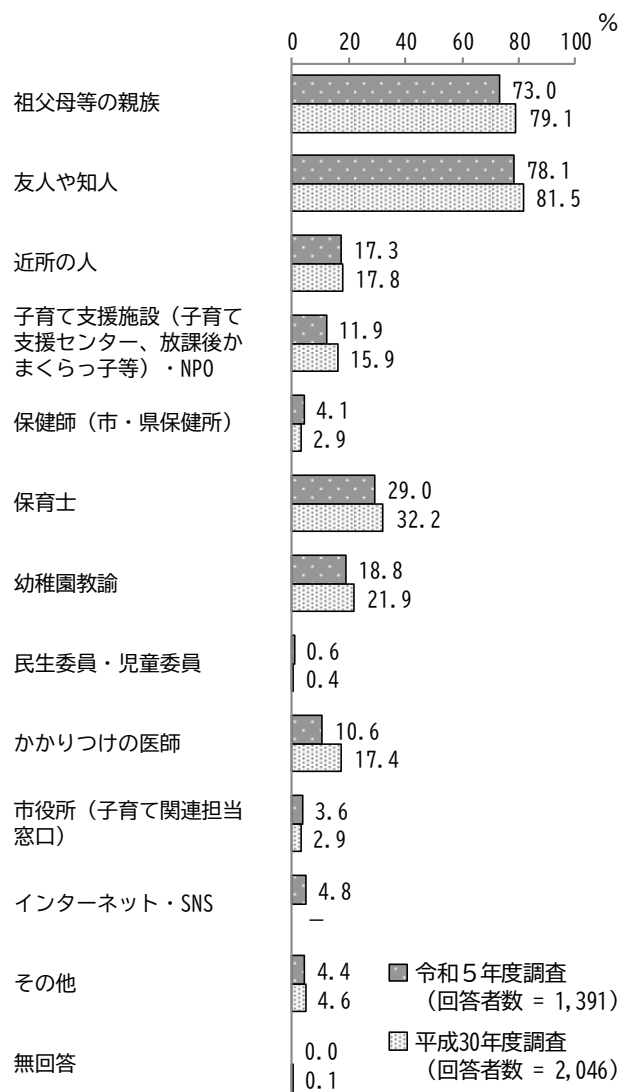
平成 30 年度調査と比較すると、「いる」の割合が減少しています。



問 18-1 問 18 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「友人や知人」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 73.0%、「保育士」の割合が 29.0%となっています。

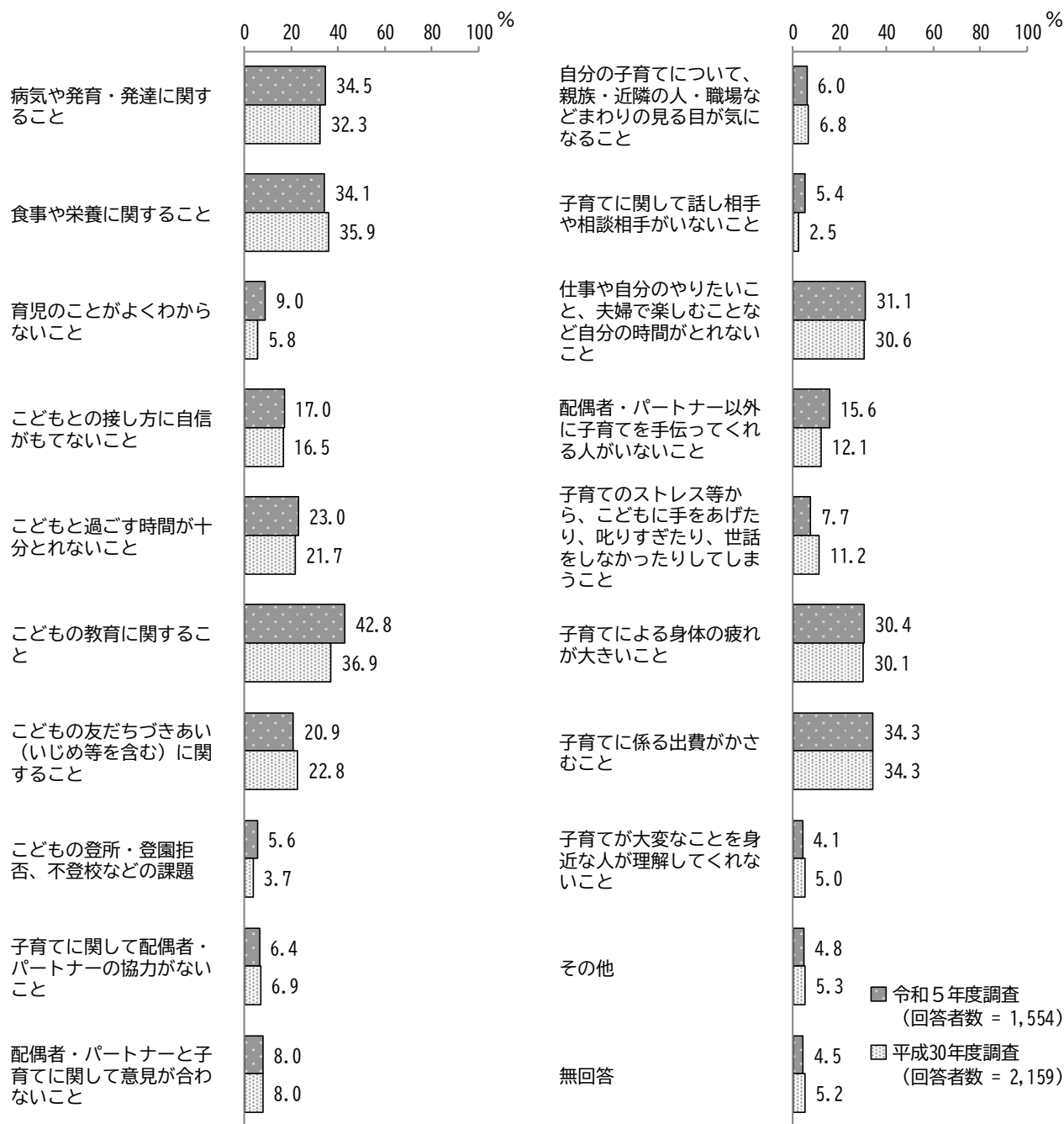
平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」「かかりつけの医師」の割合が減少しています。



※前回調査では、「インターネット・SNS」の選択肢はありませんでした。

問 19 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

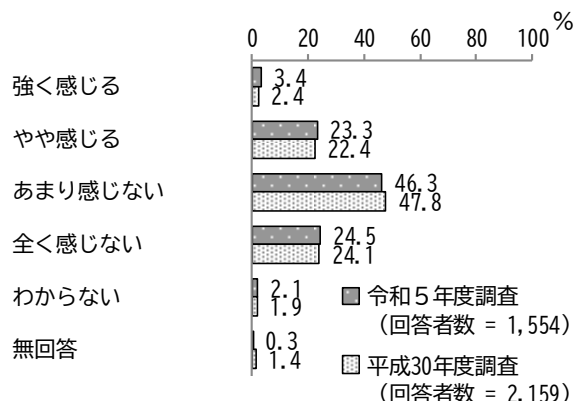
「こどもの教育に関すること」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が 34.5%、「子育てに係る出費がかさむこと」の割合が 34.3%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「こどもの教育に関すること」の割合が増加しています。



問 20 子育てにおいて孤立感を感じますか。(あてはまる番号1つに○)

「あまり感じない」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が 24.5%、「やや感じる」の割合が 23.3%となっています。

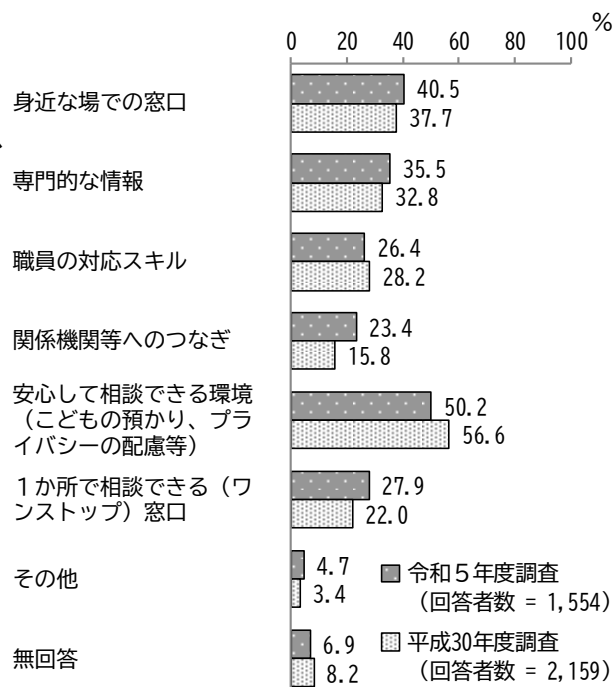
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「安心して相談できる環境（こどもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「身近な場での窓口」の割合が 40.5%、「専門的な情報」の割合が 35.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「関係機関等へのつながり」「1 か所で相談できる（ワンストップ）窓口」の割合が増加しています。一方、「安心して相談できる環境（こどもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が減少しています。

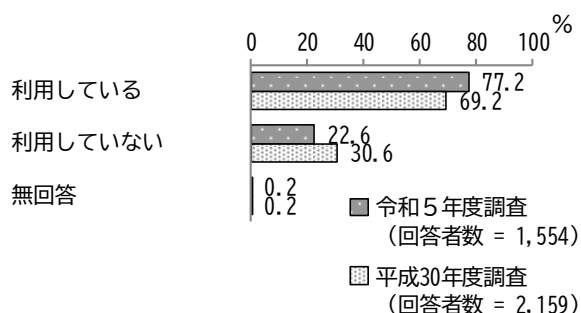


（５）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 22 宛名のお子さんは現在、平日（月曜日～金曜日）に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

「利用している」の割合が 77.2%、「利用していない」の割合が 22.6%となっています。

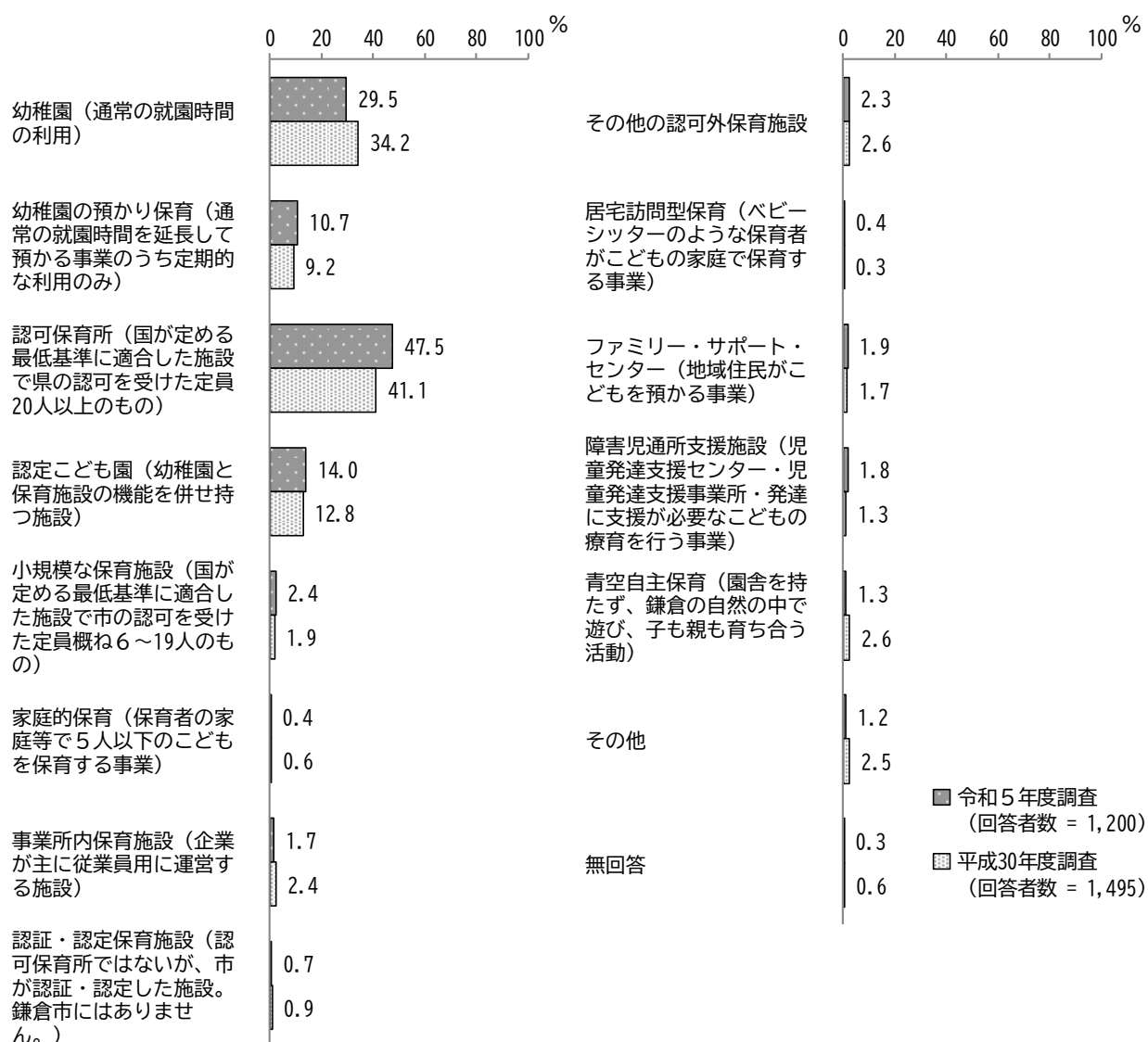
平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 22－1 問 22 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日（月曜日～金曜日）どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 29.5%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 14.0%となっています。

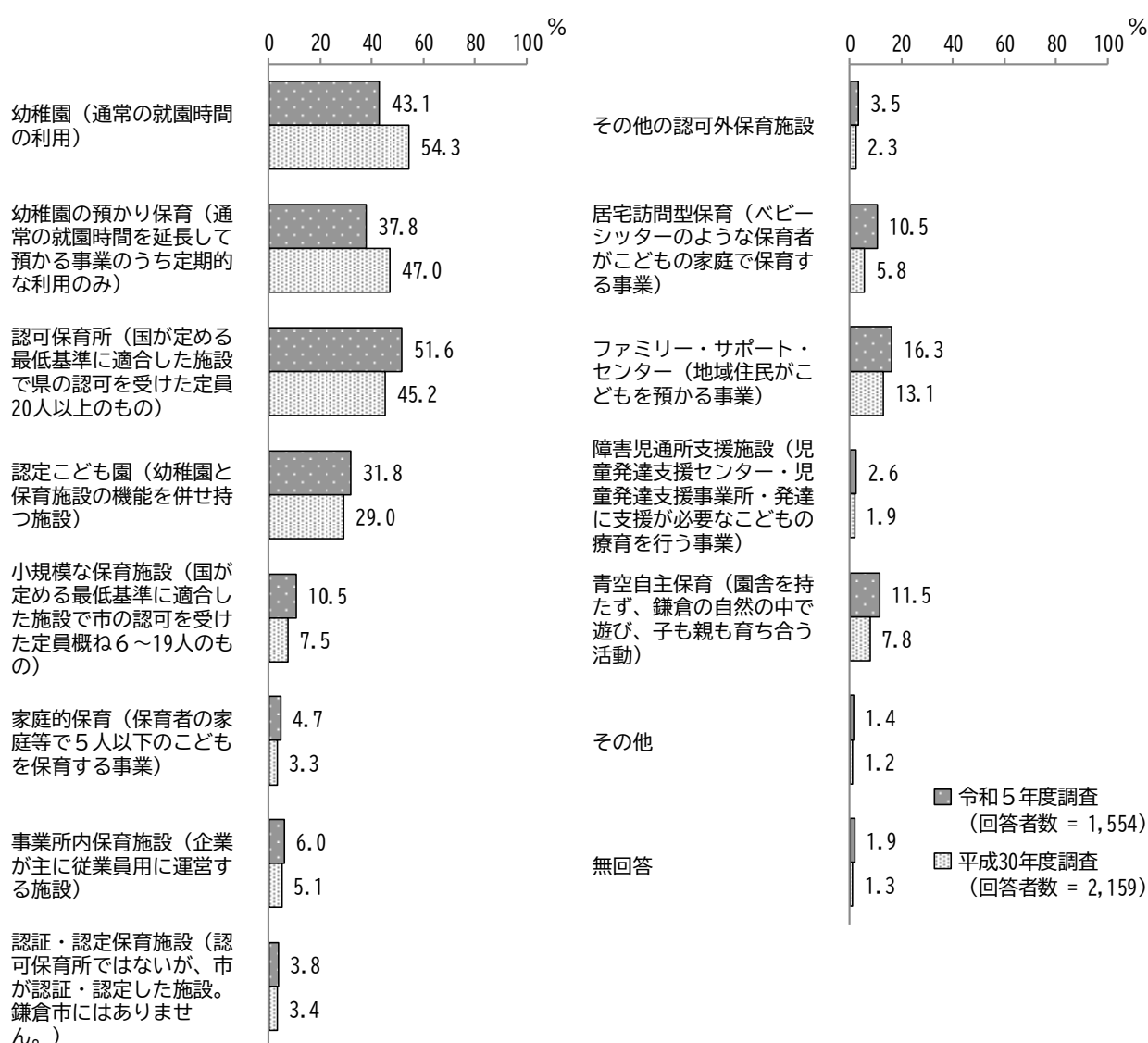
平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が増加しています。



問 23 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月曜日～金曜日）の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 43.1%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が 37.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね 6 ～ 19 人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下のこともを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
全 体	1,554	43.1	37.8	51.6	31.8	10.5	4.7	6.0
0歳	131	35.9	35.9	75.6	42.7	28.2	9.9	11.5
1歳	133	43.6	42.1	70.7	46.6	17.3	6.0	9.8
2歳	155	33.5	30.3	52.9	33.5	12.3	3.9	7.1
3歳	145	44.1	37.2	53.1	23.4	5.5	2.8	4.1
4歳	156	45.5	40.4	48.1	24.4	9.0	7.1	6.4
5歳以上	695	44.9	38.3	43.6	29.5	6.5	3.9	3.7

区分	認可・認定保育施設（認可保育所ではないが、市が認証・認定した施設。鎌倉市にはありません。）	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民がこどもを預かる事業）	障害児通所支援施設（児童発達支援センター・児童発達支援事業所・発達に支援が必要なこどもの療育を行う事業）	青空自主保育（園舎を持たず、鎌倉の自然の中で遊び、子ども親も育ち合う活動）	その他	無回答
全 体	3.8	3.5	10.5	16.3	2.6	11.5	1.4	1.9
0歳	10.7	7.6	16.0	22.1	0.8	13.0	1.5	1.5
1歳	9.8	10.5	16.5	16.5	0.8	15.0	1.5	0.8
2歳	3.2	5.2	15.5	17.4	—	13.5	1.9	1.3
3歳	2.1	0.7	7.6	15.2	2.1	6.2	0.7	2.1
4歳	3.8	4.5	10.3	21.8	6.4	12.2	3.2	1.3
5歳以上	2.2	1.6	7.9	13.8	3.0	10.4	0.7	2.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下のこどもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
全 体	1,552	43.2	37.8	51.5	31.8	10.5	4.7	6.1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	566	20.5	23.5	70.3	28.6	7.1	3.9	7.1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	221	26.7	34.4	81.4	52.5	23.1	5.9	10.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	319	43.6	42.9	42.6	29.8	8.2	3.8	4.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	46.4	50.0	57.1	21.4	14.3	10.7	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	401	83.0	55.6	17.0	28.2	10.2	5.7	4.2
これまで就労したことがない	9	88.9	33.3	11.1	—	11.1	—	—

単位：％

区分	認定・認定保育施設（認可保育所ではないが、市が認定・認定した施設。鎌倉市にはありません。）	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民がこどもを預かる事業）	障害児通所支援施設（児童発達支援センター・児童発達支援事業所・発達に支援が必要なこどもの療育を行う事業）	青空自主保育（園舎を持たず、鎌倉の自然の中で遊び、子ども親も育ち合う活動）	その他	無回答
全 体	3.8	3.5	10.5	16.3	2.6	11.5	1.4	1.9
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3.9	3.0	14.3	17.8	2.3	10.6	0.5	3.7
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7.7	6.8	10.4	18.1	0.5	12.2	1.4	0.9
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.9	2.5	5.6	14.4	2.8	10.3	1.9	0.9
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3.6	3.6	17.9	14.3	3.6	3.6	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	3.2	3.2	8.7	14.7	3.7	14.0	2.2	0.2
これまで就労したことがない	—	—	11.1	22.2	11.1	11.1	—	—

（前ページの表 続き）

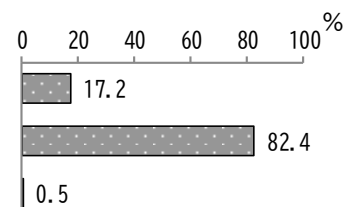
(7) 地域子育て支援事業の利用状況について

問 26 宛名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

「利用している」の割合が17.2%、「利用していない」の割合が82.4%となっています。

回答者数 = 1,554

利用している
利用していない
無回答

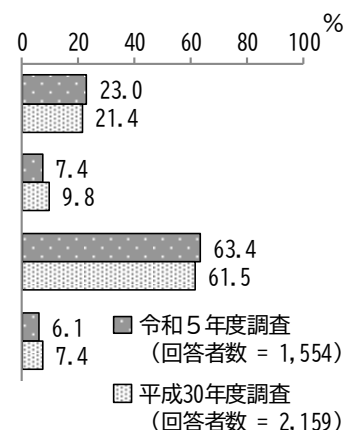


問 27 問 23 のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」の割合が63.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が23.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

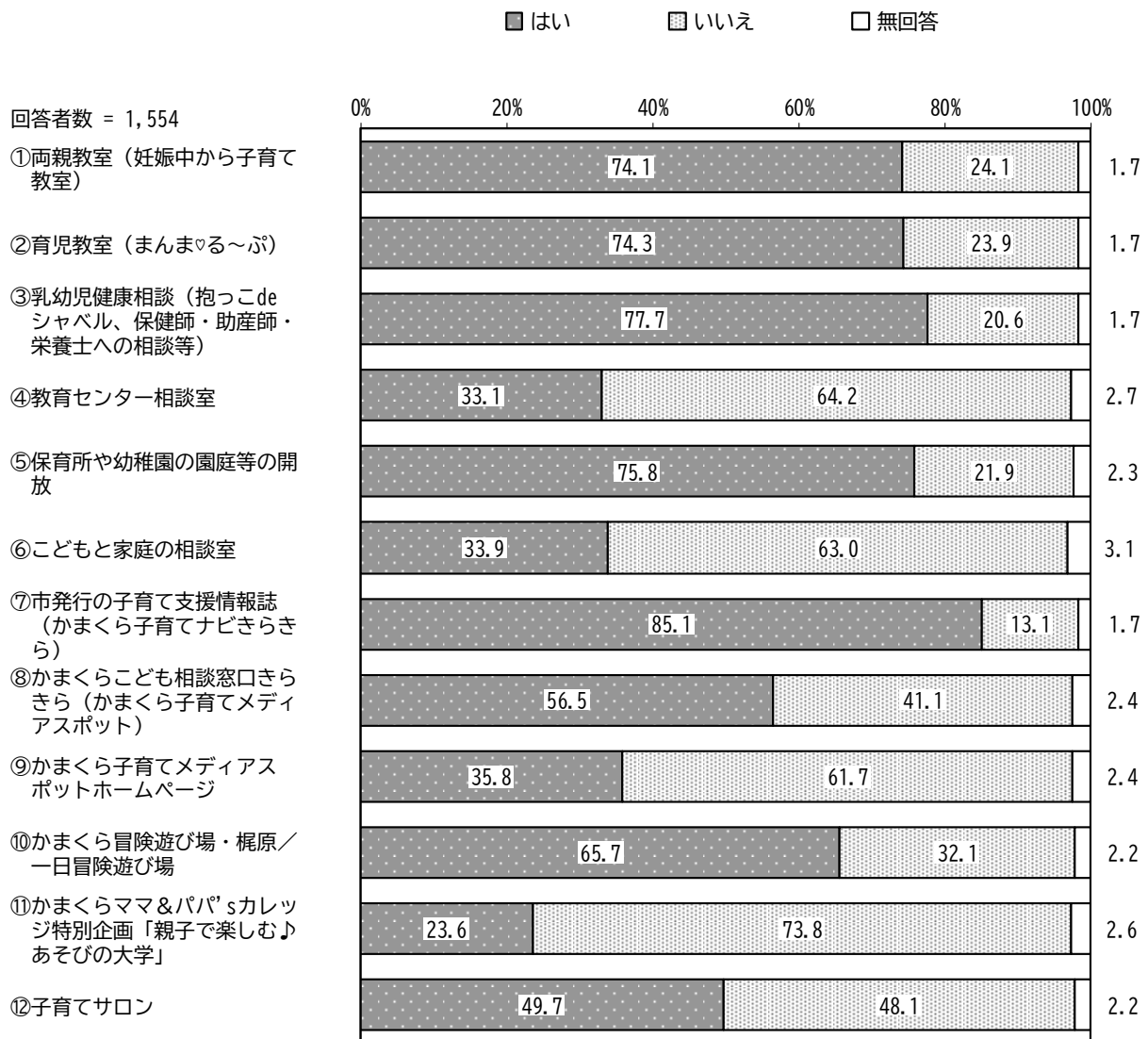
利用していないが、今後利用したい
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない
無回答



問 28 下記の事業でA. 知っているものや、B. これまでに利用したことがあるもの、C. 今後、利用したいと思うものをお答えください。(A～Cのそれぞれについて、①～⑫の事業ごとに、「はい」「いいえ」のどちらかに○)

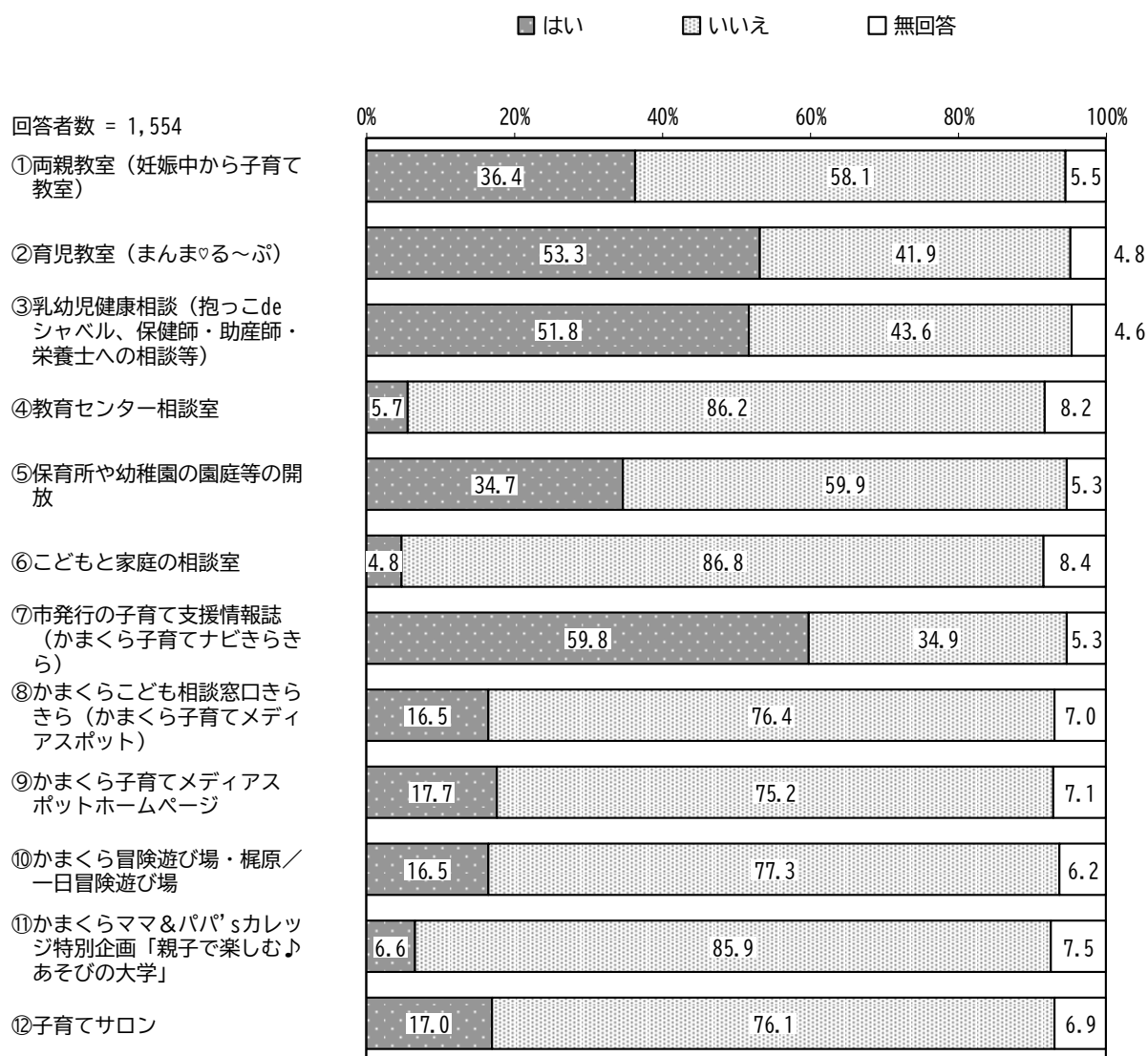
A 知っている

『⑦市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑪かまくらママ＆パパ's カレッジ特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」』で「いいえ」の割合が高くなっています。



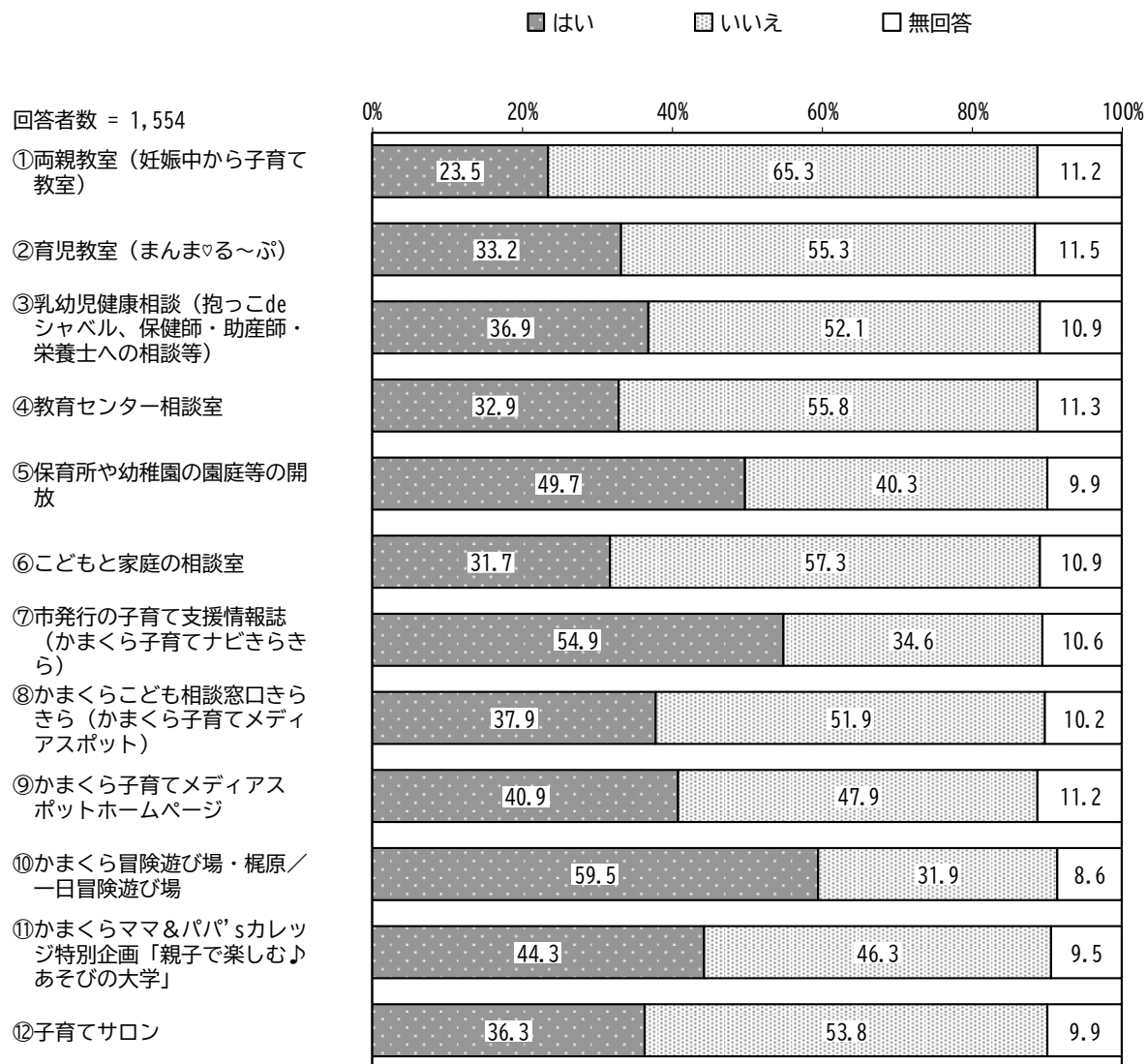
B これまでに利用したことがある

『②育児教室（まんま る〜ぷ）』、『③乳幼児健康相談（抱っこ de シャベル、保健師・助産師・栄養士への相談等）』、『⑦市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『④教育センター相談室』、『⑥こどもと家庭の相談室』、『⑪かまくらママ&パパ's カレッジ特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後、利用したい

『⑦市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』、『⑩かまくら冒険遊び場・梶原／一日冒険遊び場』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『①両親教室（妊娠中から子育て教室）』で「いいえ」の割合が高くなっています。

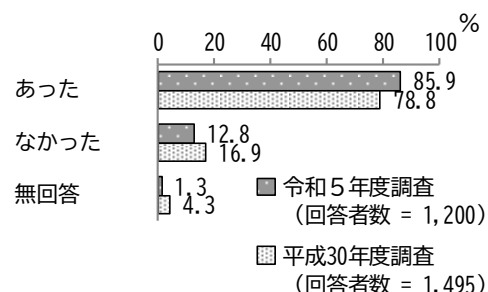


(8) 病気の際の対応について

問 29 平日（月曜日～金曜日）の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 22 で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 31 にお進みください。この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号どちらかに○）

「あった」の割合が 85.9%、「なかった」の割合が 12.8%となっています。

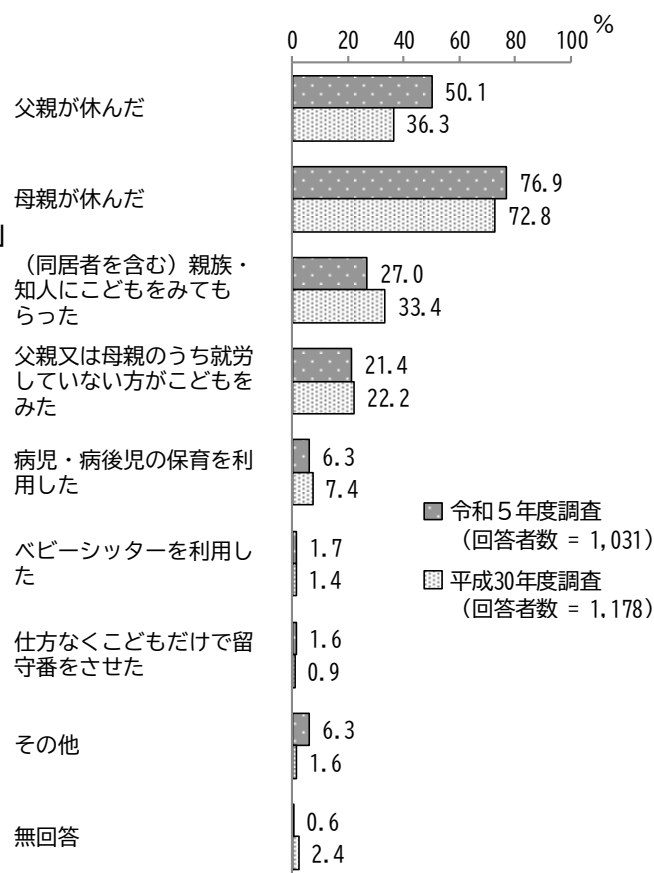
平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。



問 30 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお知らせください。（あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字で記入(半日程度の対応の場合も１日と数える)[数字は一桁に一字]

「母親が休んだ」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 50.1%、「(同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった」の割合が 27.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった」の割合が減少しています。

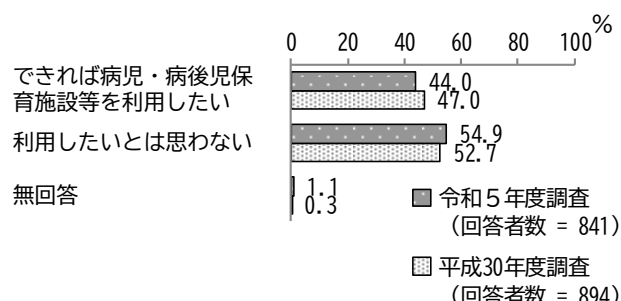


問 30－1 問 30 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に[数字で記入 数字は一枠に一字]) なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 44.0%、「利用したいとは思わない」の割合が 54.9%となっています。

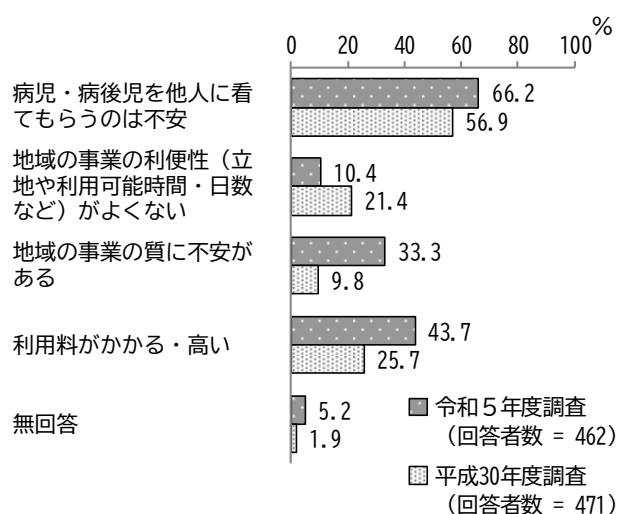
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30－2 問 30－1 で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 43.7%、「地域の事業の質に不安がある」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「地域の事業の質に不安がある」「利用料がかかる・高い」の割合が増加しています。一方、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」の割合が減少しています。

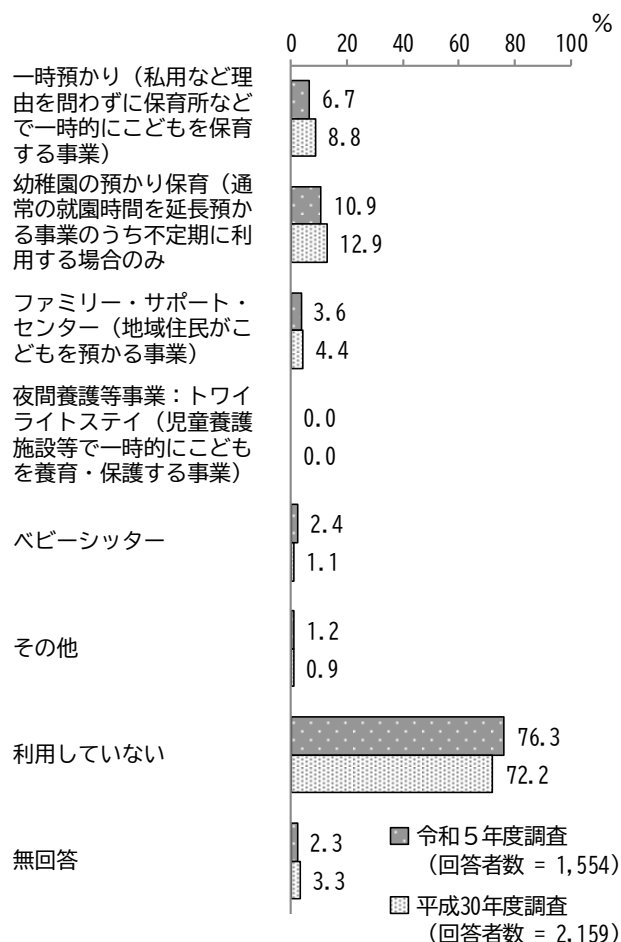


(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字で記入[数字は一桁に一字])

「利用していない」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)」の割合が 10.9%となっています。

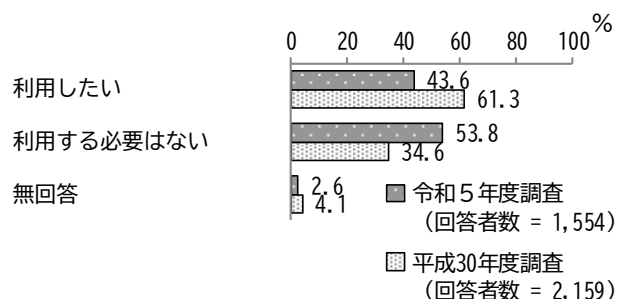
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 32 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号どちらか1つに○) 利用したい方は、利用目的をお答えください。(あてはまる記号すべてに○をつけ、1年間の必要な日数を、目的それぞれにつき、□内に数字で記入[数字は一桁に一字])

「利用したい」の割合が 43.6%、「利用する必要はない」の割合が 53.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「利用したい」の割合が減少しています。



問 33 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

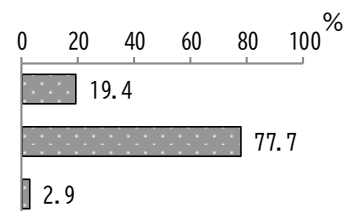
「利用したい」の割合が 19.4%、「利用する必要はない」の割合が 77.7%となっています。

回答者数 = 1,554

利用したい

利用する必要はない

無回答



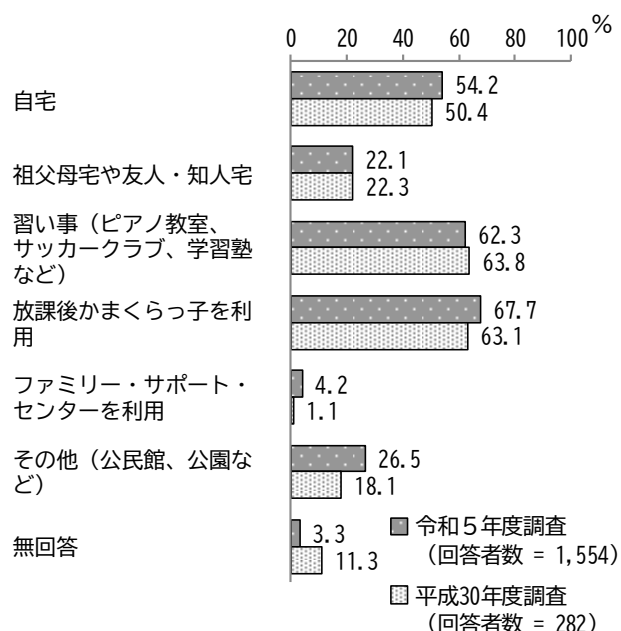
(10) 放課後の過ごし方について

問 34 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」を選択した場合には、利用を希望する時間も□内に数字で記入。時間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]）

(1) 夏季（４～９月）

「放課後かまくらっ子を利用」の割合が67.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が62.3%、「自宅」の割合が54.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「自宅」の割合が高くなっています。

単位：％

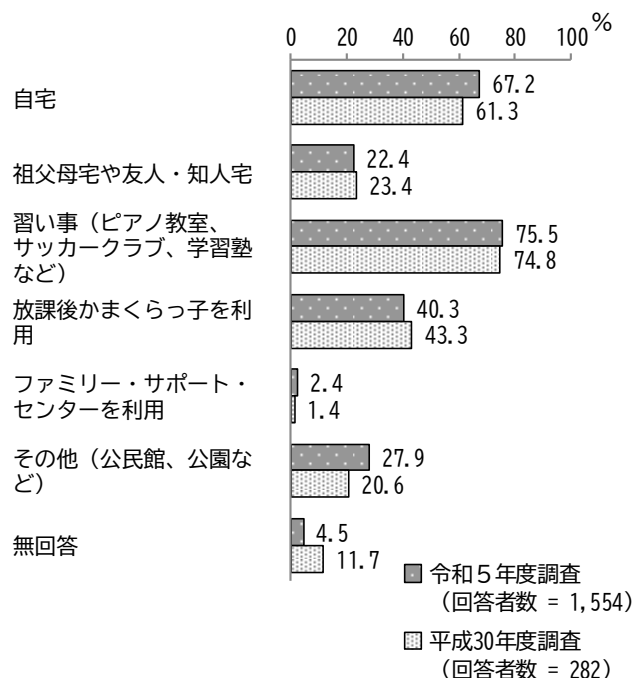
区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後かまくらっ子を利用	ファミリー・サポート・センターを利用	その他（公民館、公園など）	無回答
全 体	1,552	54.3	22.1	62.4	67.7	4.3	26.5	3.3
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	566	38.7	17.7	52.5	80.4	4.4	13.4	2.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	221	32.1	22.2	59.7	77.4	6.8	21.3	4.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	319	64.6	22.3	63.6	69.9	2.8	27.6	2.8
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	64.3	28.6	71.4	71.4	3.6	25.0	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	401	79.3	28.2	76.3	43.1	4.0	47.4	3.5
これまで就労したことがない	9	77.8	22.2	55.6	33.3	—	44.4	—

問 35 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」を選択した場合には利用を希望する時間も□内に数字で記入。時間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入[数字は一桁に一字])

(1) 夏季（４～９月）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が75.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が67.2%、「放課後かまくらっ子を利用」の割合が40.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「その他（公民館、公園など）」の割合が高くなっています。

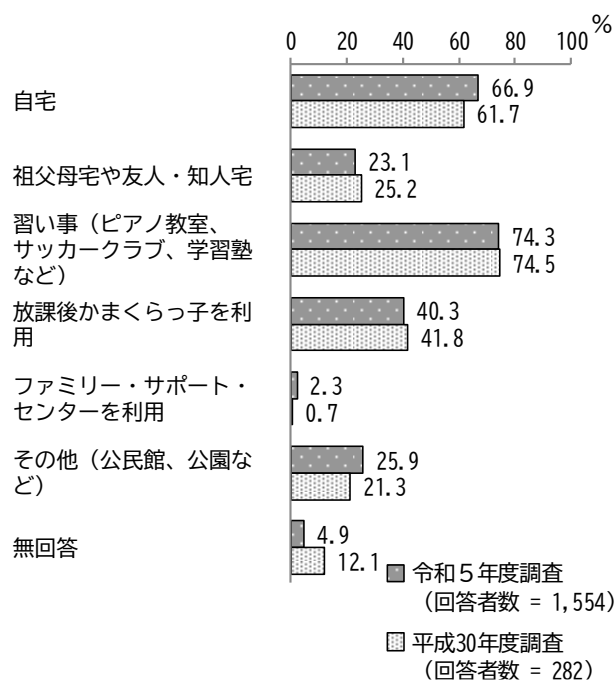
単位：％

区分	回答者数（件）	自宅	人宅 祖父母宅や友人・知	習い事（ピアノ教室、 サッカークラブ、 学習塾など）	放課後かまくらっ 子を利用	ファミリー・サポー ト・センターを利用	その他（公民館、公 園など）	無回答
全 体	1,552	67.2	22.4	75.5	40.3	2.4	27.9	4.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	566	63.4	20.5	71.7	48.6	2.7	14.3	3.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	221	52.9	20.4	71.9	48.0	4.5	25.3	5.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	319	73.0	22.9	75.2	34.5	1.3	32.0	5.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	71.4	17.9	82.1	32.1	3.6	35.7	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	401	75.6	26.9	82.5	29.2	2.0	45.1	4.7
これまで就労したことがない	9	77.8	11.1	88.9	44.4	—	33.3	—

(2) 冬季 (10～3月)

「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 66.9%、「放課後かまくらっ子を利用」の割合が 40.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「その他 (公民館、公園など)」の割合が高くなっています。

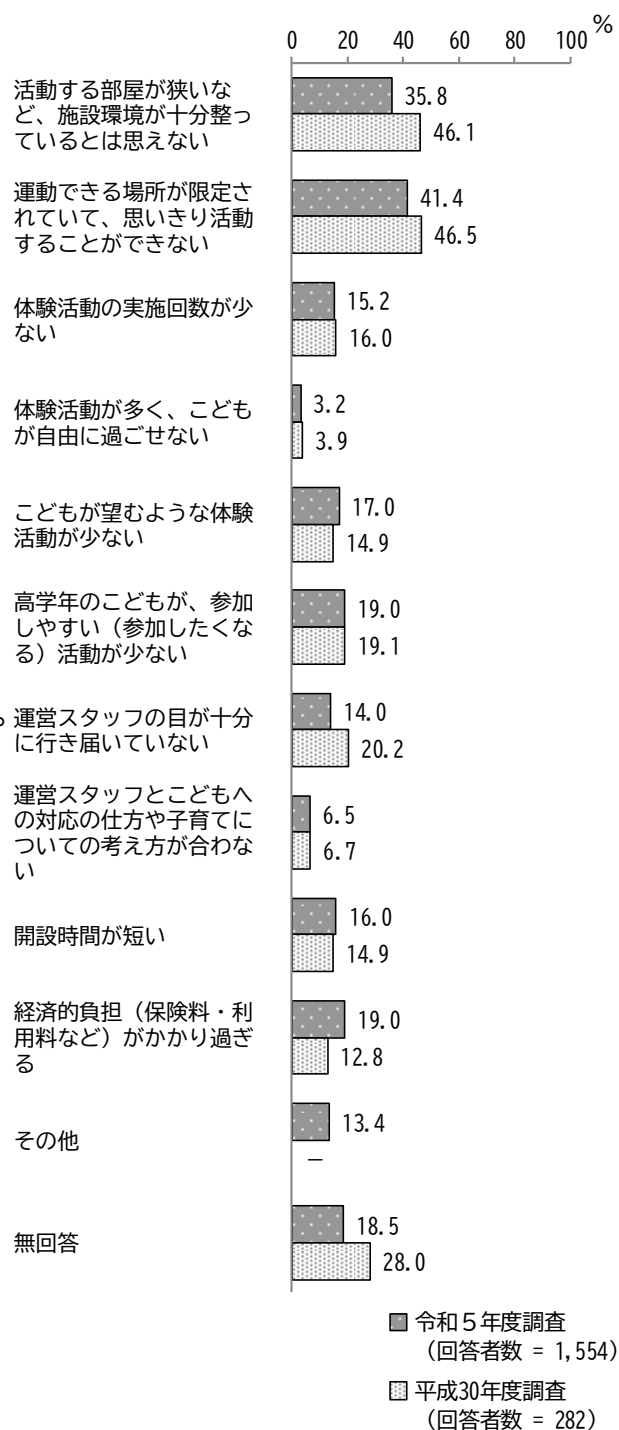
単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後かまくらっ子を利用	ファミリー・サポート・センターを利用	その他 (公民館、公園など)	無回答
全 体	1,552	66.9	23.1	74.4	40.3	2.3	25.9	4.9
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	566	62.4	21.4	70.7	49.1	2.1	12.7	4.1
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	221	51.6	19.5	70.1	48.4	5.0	23.1	5.9
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	319	72.7	23.2	74.3	34.2	1.3	30.1	5.0
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	75.0	21.4	82.1	32.1	3.6	32.1	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	401	76.8	28.2	81.5	28.9	2.0	42.4	5.2
これまで就労したことがない	9	77.8	22.2	77.8	33.3	—	44.4	—

問 37 放課後の居場所について課題だと思うことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

「運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない」の割合が41.4%と最も高く、次いで「活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない」の割合が35.8%、「高学年のこどもが、参加しやすい（参加したくなる）活動が少ない」、「経済的負担（保険料・利用料など）がかかり過ぎる」の割合が19.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的負担（保険料・利用料など）がかかり過ぎる」の割合が増加しています。一方、「活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない」「運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない」「運営スタッフの目が十分に行き届いていない」の割合が減少しています。

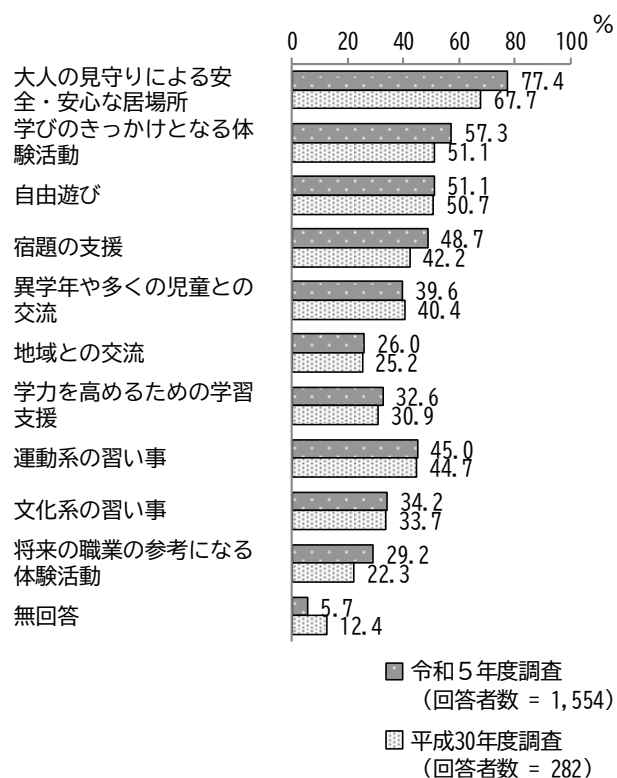


※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

問 38 こどもが放課後の時間を過ごすにあたり、必要だと思うものは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「学びのきっかけとなる体験活動」の割合が 57.3%、「自由遊び」の割合が 51.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「大人の見守りによる安全・安心な居場所」「学びのきっかけとなる体験活動」「宿題の支援」「将来の職業の参考になる体験活動」の割合が増加しています。



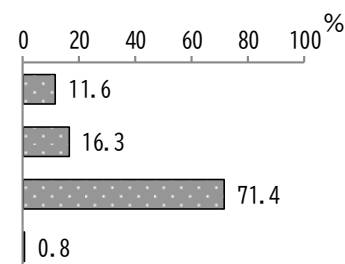
(11) こども誰でも通園制度について

問 39 こども誰でも通園制度を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

「知らない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」の割合が16.3%、「名前も内容も知っている」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 1,554

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らない
知らない
無回答

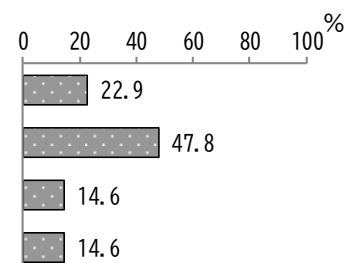


問 40 0～2歳の未就園児の親で在宅保育をしているまたは予定している方にお聞きします。こども誰でも通園制度を利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

「できれば利用してみたい」の割合が47.8%と最も高く、次いで「とても利用したい」の割合が22.9%、「利用したくない」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 314

とても利用したい
できれば利用してみたい
利用したくない
無回答

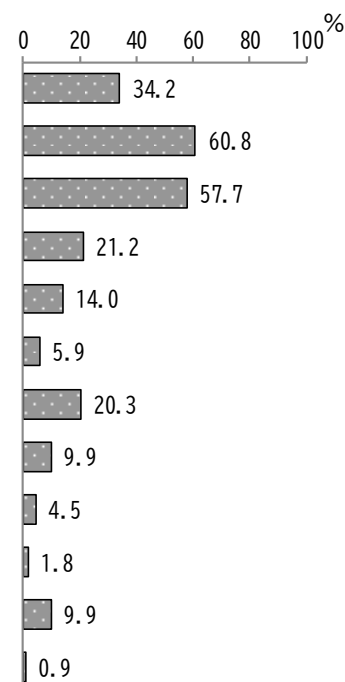


問 40-1 問 40 で「とても利用したい」～「できれば利用してみたい」と答えた方にお聞きします。
利用したい・してみたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「育児疲れの軽減」の割合が60.8%と最も高く、次いで「自分の自由時間を作るため」の割合が57.7%、「夫婦共働きのため」の割合が34.2%となっています。

回答者数 = 222

夫婦共働きのため
育児疲れの軽減
自分の自由時間を作るため
趣味の時間を増やすため
妊娠・出産のため
ご自身の病気のため
求職活動のため
パパ友・ママ友作りのため
ご自身またはパートナーの就学のため
同居家族・親族の介護や看護のため
その他
無回答



(12) ヤングケアラーについて

問 41 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 11.2%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 10.4%となっています。

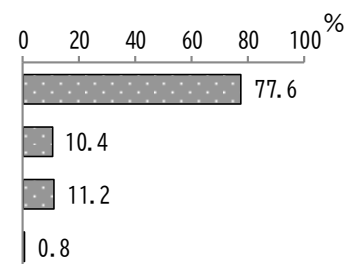
回答者数 = 1,554

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 42 ヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまる番号すべてに○)

「関係機関に相談する」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「本人に様子を聞く」の割合が 37.8%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 29.6%となっています。

回答者数 = 1,554

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

保育所や幼稚園に相談する

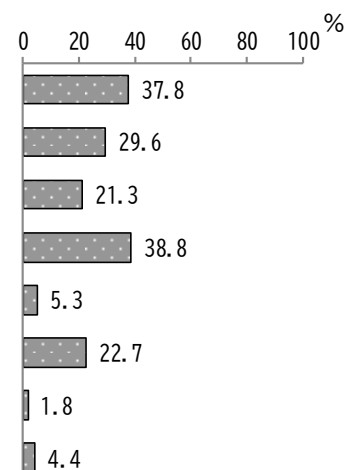
関係機関に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答



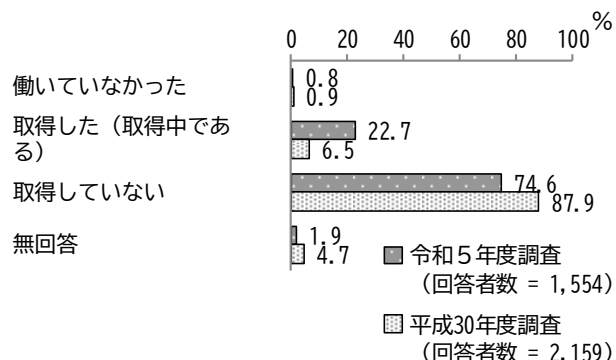
(13) 職場の両立支援制度について

問 44 宛名のお子さんが生まれた時、父親・母親のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) また、取得していない方はその理由をご記入ください。

①父親

「取得していない」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 22.7%となっています。

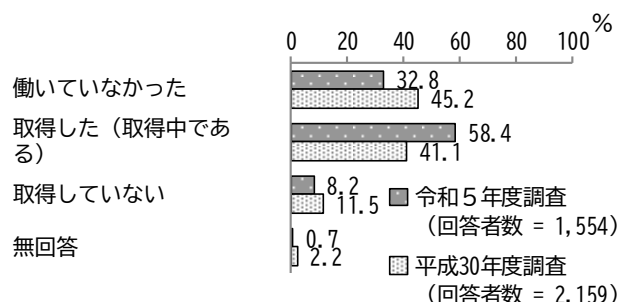
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が 3 倍以上に増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



②母親

「取得した(取得中である)」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 32.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

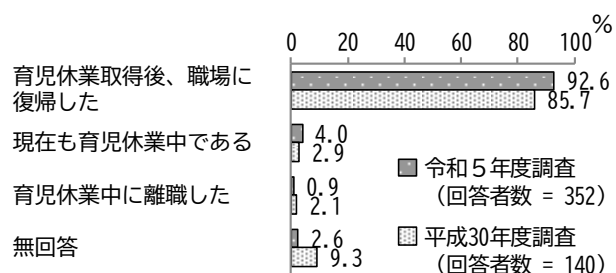


問 44-2 問 44 で「取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 92.6%と最も高くなっています。

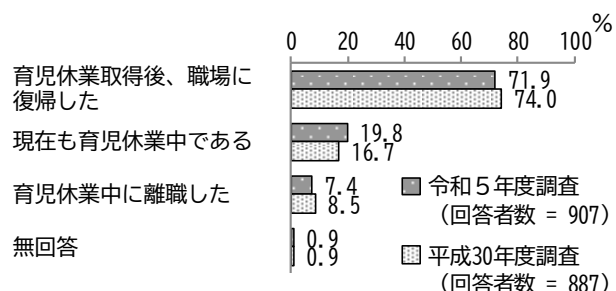
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。



②母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 19.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

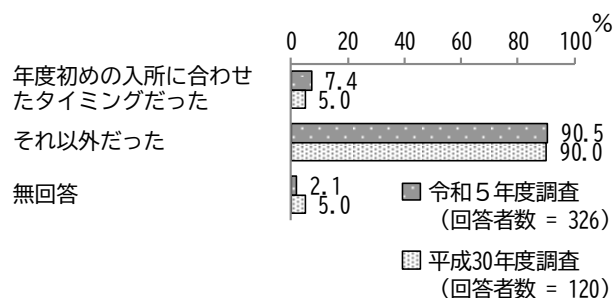


問 44－3 問 44－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ、どちらか1つに○）※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

①父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が7.4%、「それ以外だった」の割合が90.5%となっています。

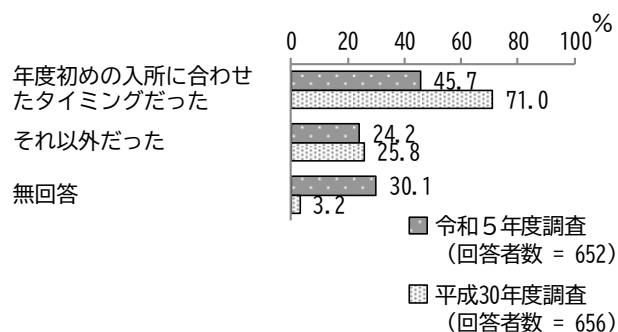
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が45.7%、「それ以外だった」の割合が24.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が減少しています。



問 45 産後にどのような支援を受けたかった、受けていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「宿泊しながらお母さんの身体と心の休息が出来るサービス」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「宿泊しながら赤ちゃんの授乳や沐浴など育児のアドバイス」の割合が 26.4%、「宿泊しながらお父さんへ育児のアドバイス」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 1,554

宿泊しながらお母さんの身体と心の休息が出来るサービス

宿泊しながら赤ちゃんの授乳や沐浴など育児のアドバイス

宿泊しながらお父さんへ育児のアドバイス

ご自宅に伺って授乳や沐浴など育児のアドバイス

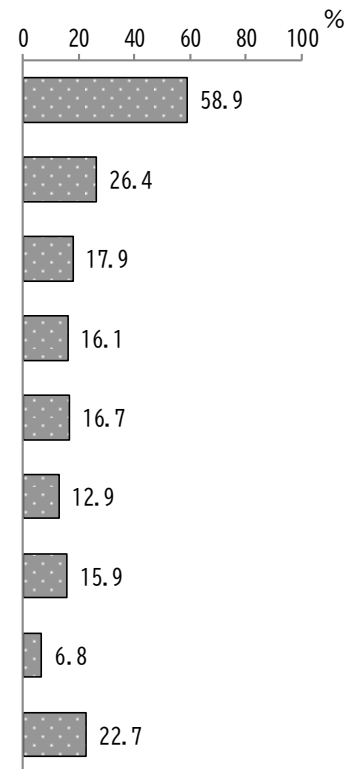
ご自宅に伺ってお父さんへ育児のアドバイス

日帰りでの授乳や沐浴など育児のアドバイス

日帰りでのお父さんへ育児のアドバイス

その他

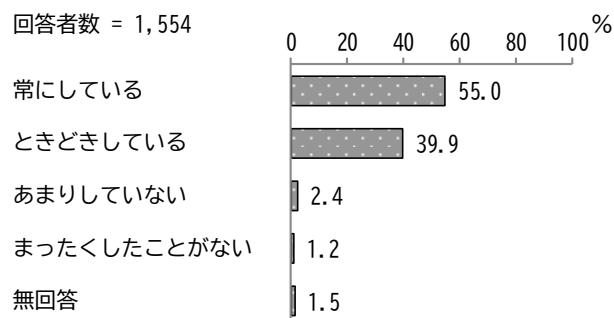
無回答



(14) こどもの権利について

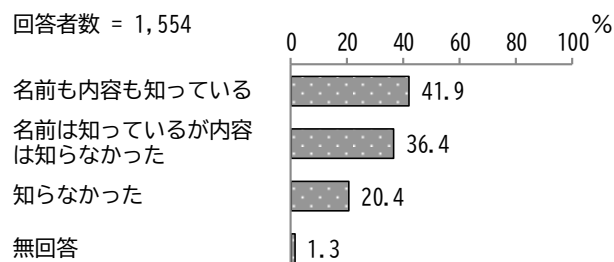
問 46 あなたは、子育てをしていて、こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「常にしている」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 39.9%となっています。



問 47 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

「名前も内容も知っている」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 36.4%、「知らなかった」の割合が 20.4%となっています。



問 48 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。
(あてはまる番号に3つまで○)

「自分の考えを自由に言えること」の割合が53.0%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が46.0%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が37.3%となっています。

回答者数 = 1,554

人種や性別、宗教などで差別されないこと

自分の考えを自由に言えること

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

自分の秘密が守られること

必要な情報を手に入れられること

暴力や言葉で傷つけられないこと

障がいのあるこどもが差別されないこと

けがをした時や病気の時に治療を受けられること

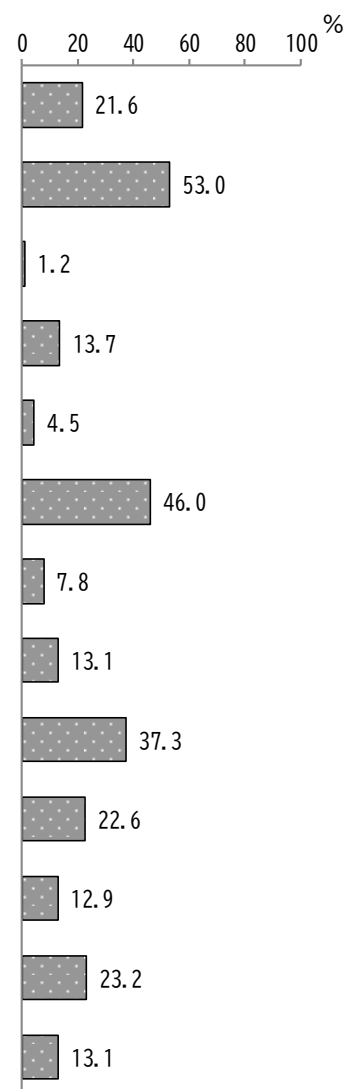
親や家族と一緒に安心して生活できること

教育を受けたり、休んだり、遊んだりできる自由な時間をもつこと

もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること

住む場所や食べ物があること

無回答

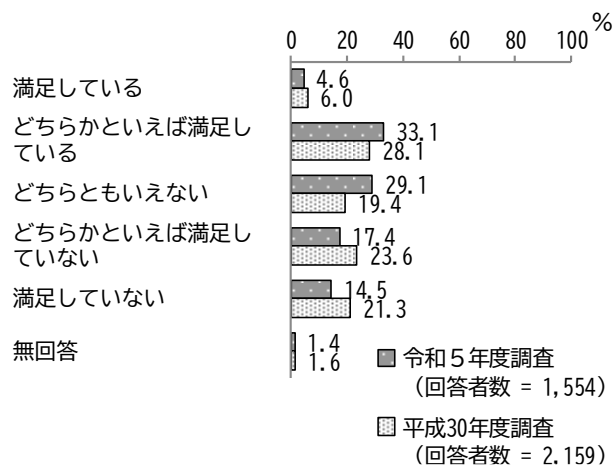


(15) 子育てに関する政策について

問 49 あなたは、鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

「どちらかといえば満足している」の割合が33.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が29.1%、「どちらかといえば満足していない」の割合が17.4%となっています。

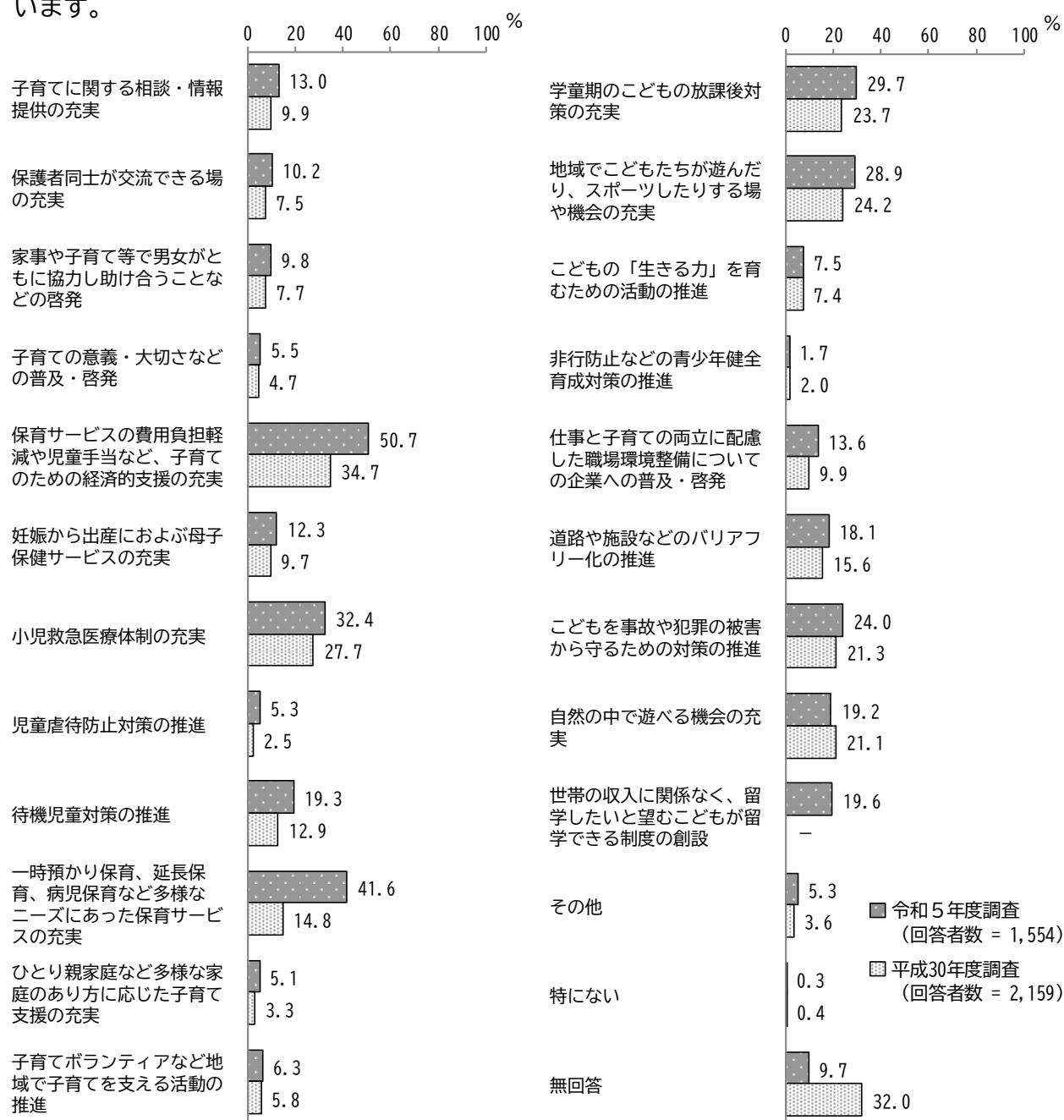
平成30年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」の割合が減少しています。



問 50 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。
(あてはまる番号5つまでに○)

「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」の割合が50.7%と最も高く、次いで「一時預かり保育、延長保育、病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実」の割合が41.6%、「小児救急医療体制の充実」の割合が32.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」「待機児童対策の推進」「一時預かり保育、延長保育、病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実」「学童期のこどもの放課後対策の充実」の割合が増加しています。



※前回調査では、「世帯の収入に関係なく、留学したいと望むこどもが留学できる制度の創設」の選択肢はありませんでした。

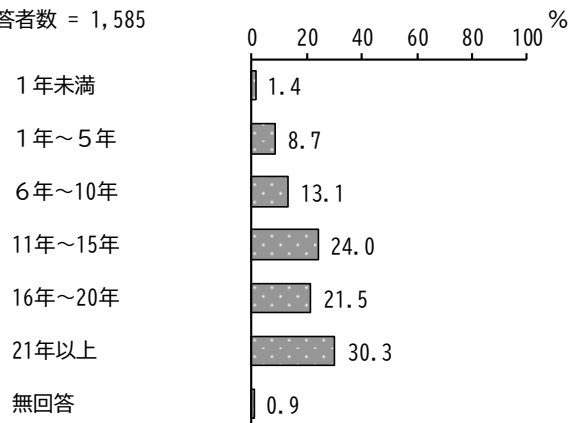
2 小学生から高校生等の保護者

(1) ご家族の状況について

問2 鎌倉市に、通算何年お住いですか。(あてはまる番号1つに○)

「21年以上」の割合が30.3%と最も高く、次いで「11年～15年」の割合が24.0%、「16年～20年」の割合が21.5%となっています。

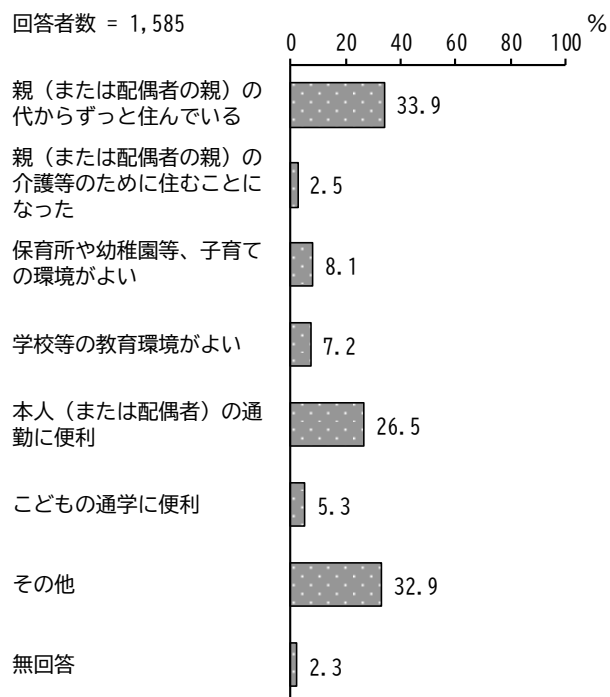
回答者数 = 1,585



問3 鎌倉市にお住いになるようになったきっかけは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「親(または配偶者の親)の代からずっと住んでいる」の割合が33.9%と最も高く、次いで「本人(または配偶者)の通勤に便利」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 1,585



問9 保護者（宛名のお子さん）の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

※父子家庭の場合、②母親の記入は不要です。また、母子家庭の場合、①父親の記入は不要です。

※父親や母親以外の場合、男性の場合は父親として、女性の場合は母親としてお答えください。

①父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が95.6%と最も高くなっています。

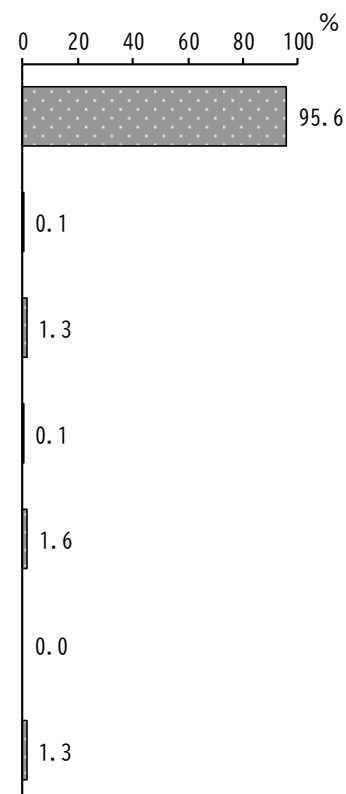
回答者数 = 1,491

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	1,491	95.6	0.1	1.3	0.1	1.6	—	1.3
6～8歳	110	95.5	—	1.8	0.9	1.8	—	—
9～11歳	250	97.2	0.4	0.8	—	1.2	—	0.4
12～14歳	310	96.1	—	1.3	—	1.9	—	0.6
15～17歳	331	96.1	—	1.2	—	1.2	—	1.5
18～20歳	203	99.0	—	0.5	—	0.5	—	—
21歳以上	135	95.6	—	1.5	—	1.5	—	1.5

②母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 32.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 1,565

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

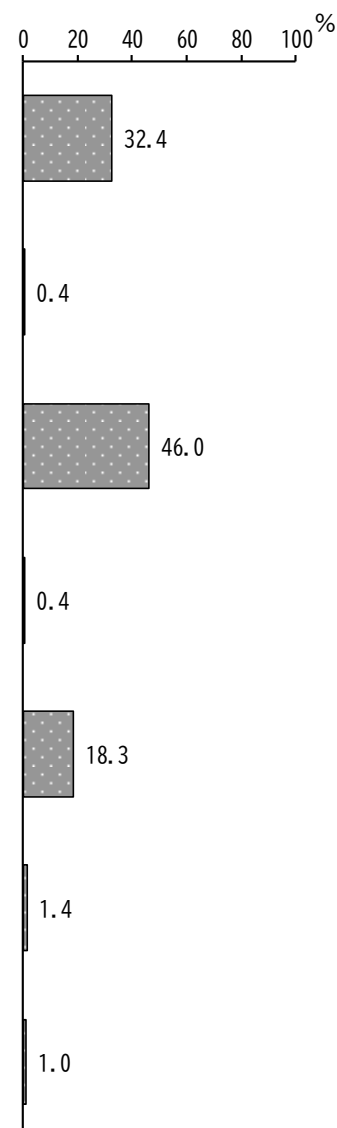
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



【年齢別】

年齢別にみると、6～8歳で「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体	1,565	32.4	0.4	46.0	0.4	18.3	1.4	1.0
6～8歳	114	38.6	1.8	24.6	1.8	32.5	—	0.9
9～11歳	258	28.7	0.4	43.4	—	25.6	1.6	0.4
12～14歳	334	34.4	0.6	47.9	—	15.6	0.9	0.6
15～17歳	343	30.9	—	49.9	0.3	16.3	1.7	0.9
18～20歳	213	32.9	—	52.6	0.5	14.1	—	—
21歳以上	139	32.4	1.4	48.2	1.4	11.5	4.3	0.7

問9-2 問9で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

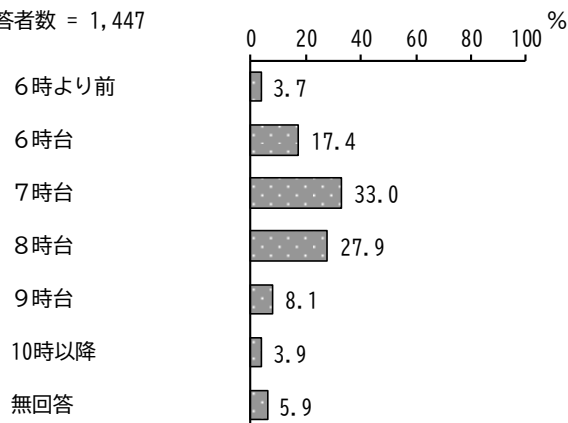
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（それぞれ、□内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

①父親

家を出る時刻

「7時台」の割合が33.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が27.9%、「6時台」の割合が17.4%となっています。

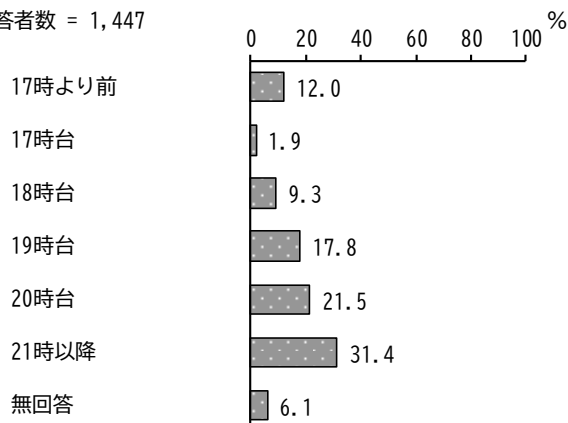
回答者数 = 1,447



帰宅時刻

「21時以降」の割合が31.4%と最も高く、次いで「20時台」の割合が21.5%、「19時台」の割合が17.8%となっています。

回答者数 = 1,447

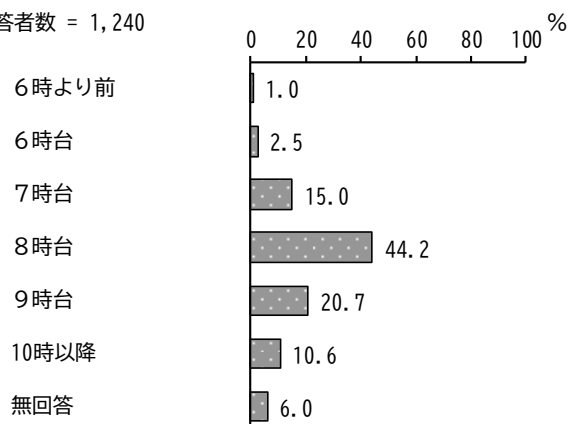


②母親

家を出る時刻

「8時台」の割合が44.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.7%、「7時台」の割合が15.0%となっています。

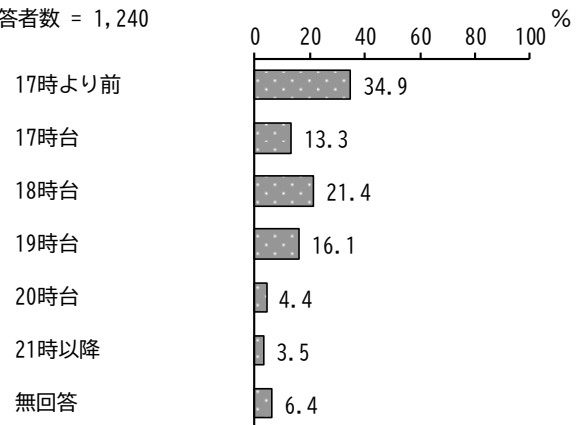
回答者数 = 1,240



帰宅時刻

「17 時より前」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.4%、「19 時台」の割合が 16.1%となっています。

回答者数 = 1,240



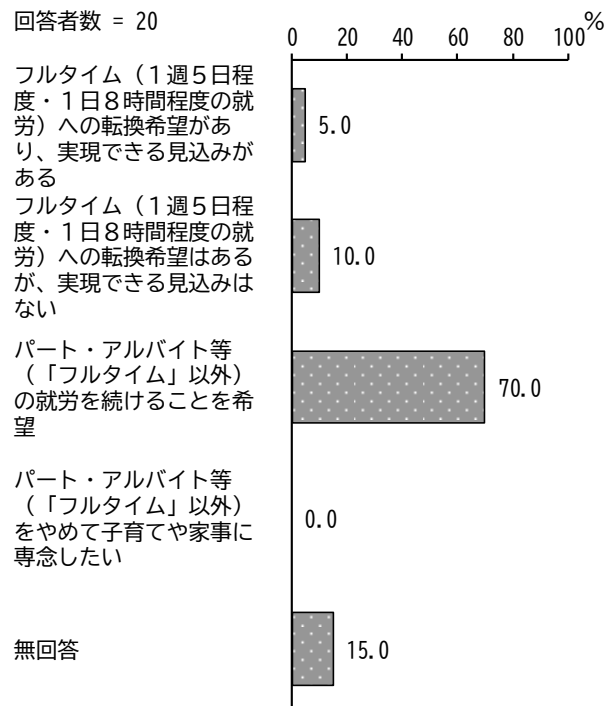
問9－3 問9で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問10へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

①父親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 20



②母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が64.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が21.5%となっています。

回答者数 = 726

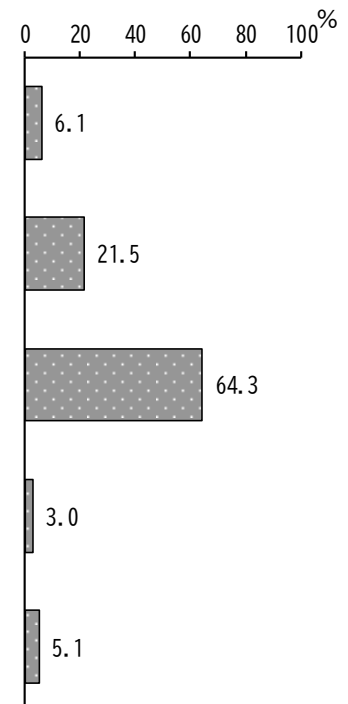
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

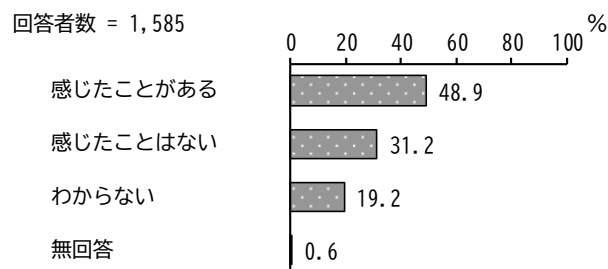
無回答



(3) 子育ての環境について

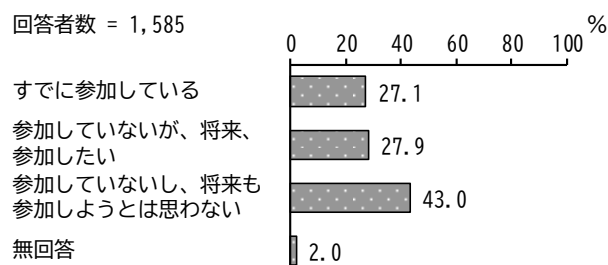
問 15 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「感じたことがある」の割合が48.9%と最も高く、次いで「感じたことはない」の割合が31.2%、「わからない」の割合が19.2%となっています。



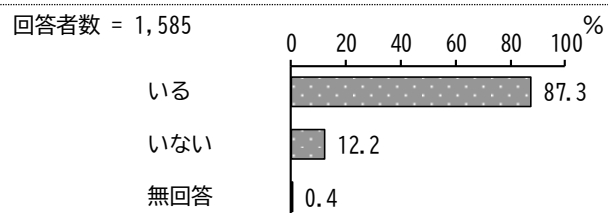
問 16 あなたは、現在、町内会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。(あてはまる番号1つに○)

「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」の割合が43.0%と最も高く、次いで「参加していないが、将来、参加したい」の割合が27.9%、「すでに参加している」の割合が27.1%となっています。



問 17 あなたの職場やお住いの場所には、あなたの話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

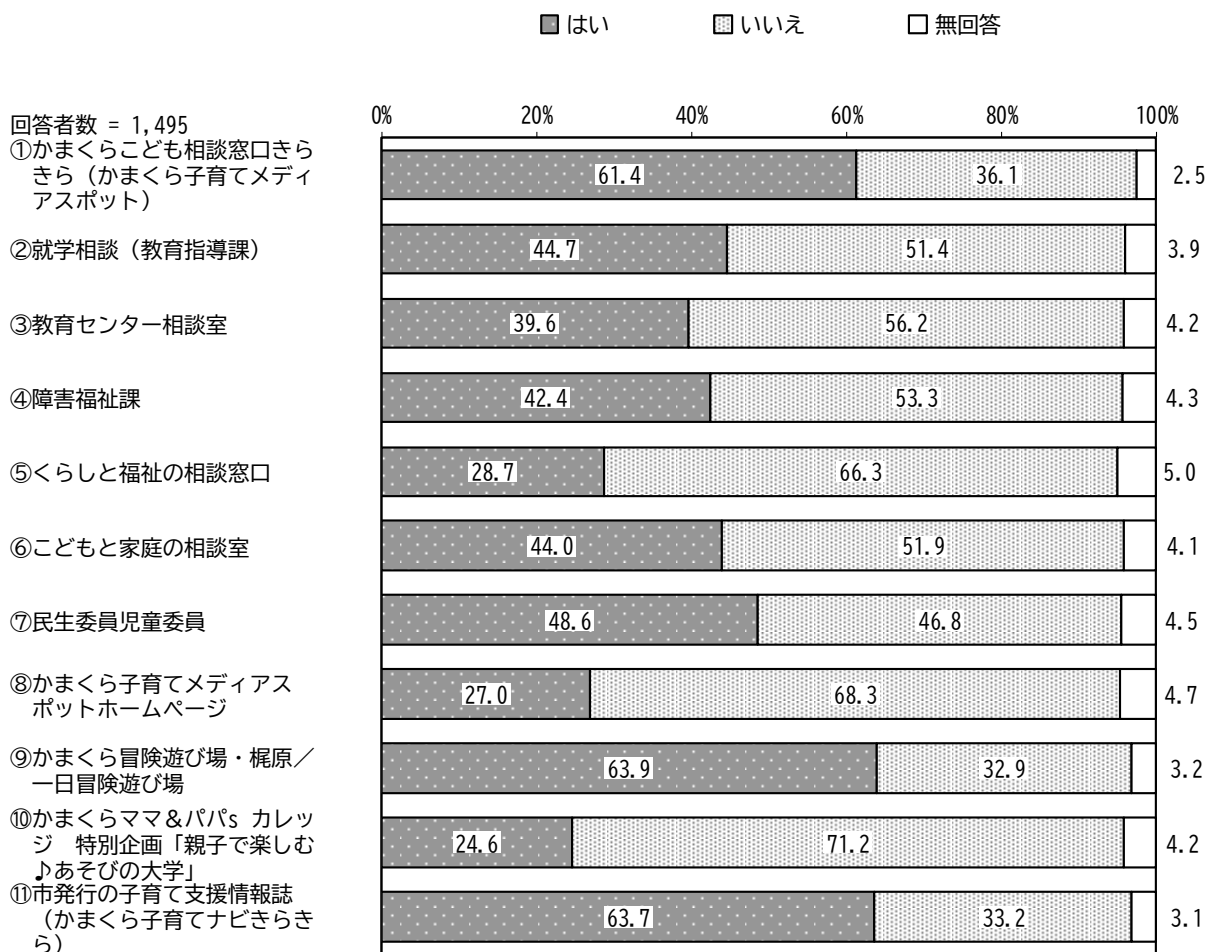
「いる」の割合が87.3%、「いない」の割合が12.2%となっています。



問 18 次の事業でA. 知っているものや、B. これまでに利用したことがあるもの、
C. 今後、利用したいと思うものをお答えください。
(A～Cのそれぞれについて、①～⑪の事業ごとに、「はい」「いいえ」のどちらかに○)

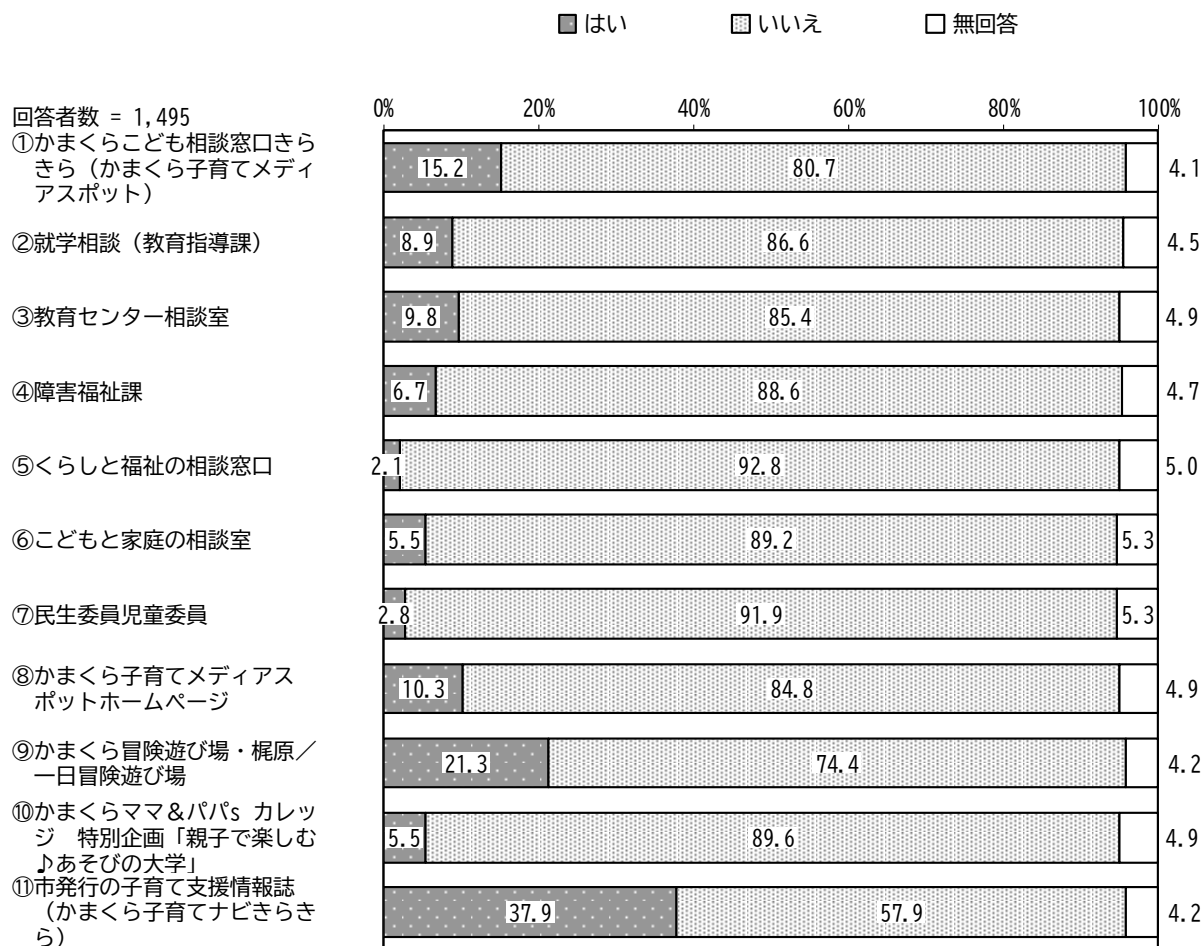
A. 知っている

『⑨かまくら冒険遊び場・梶原／一日冒険遊び場』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑩かまくらママ＆パパ's カレッジ 特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」』で「いいえ」の割合が高くなっています。



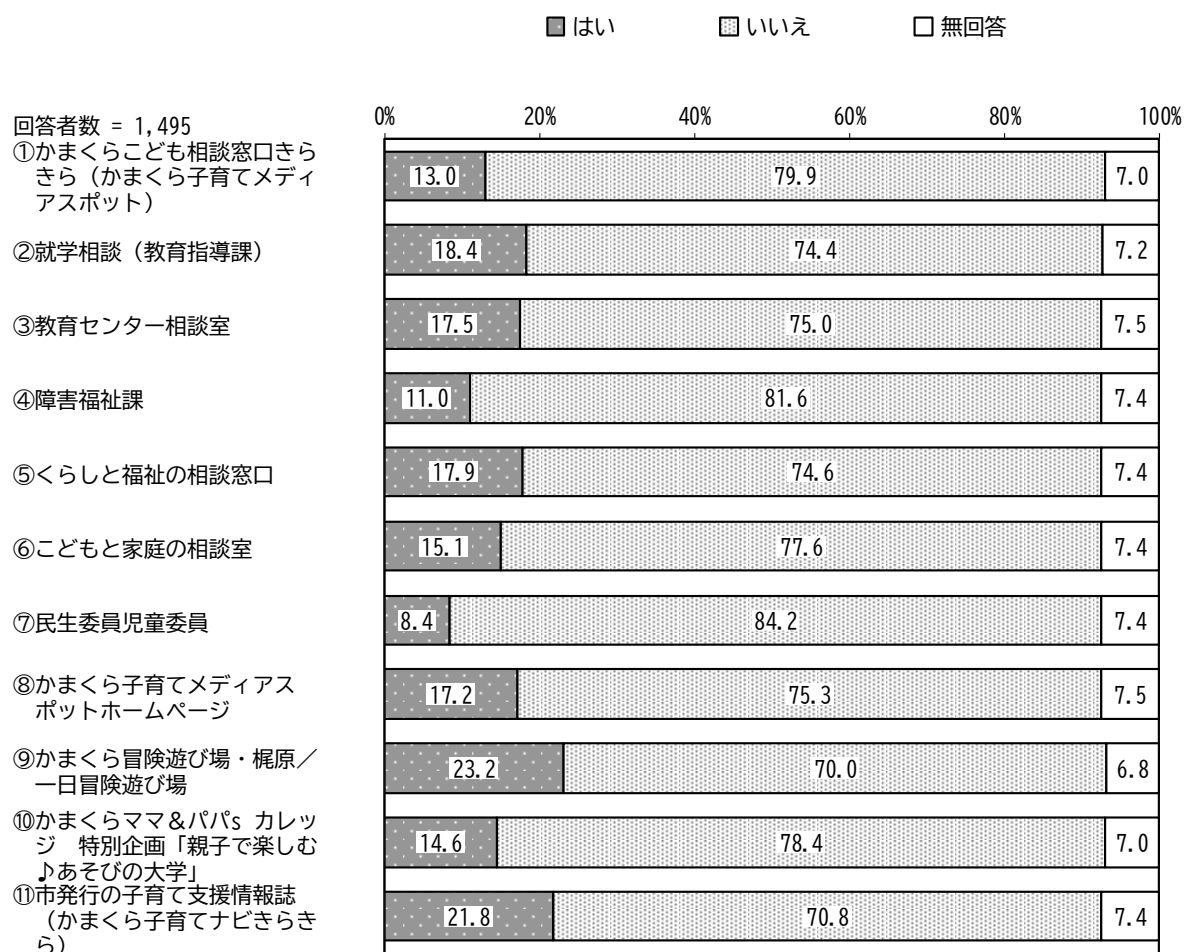
B. これまでに利用したことがある

『⑤くらしと福祉の相談窓口』や『⑦民生委員児童委員』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑪市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。



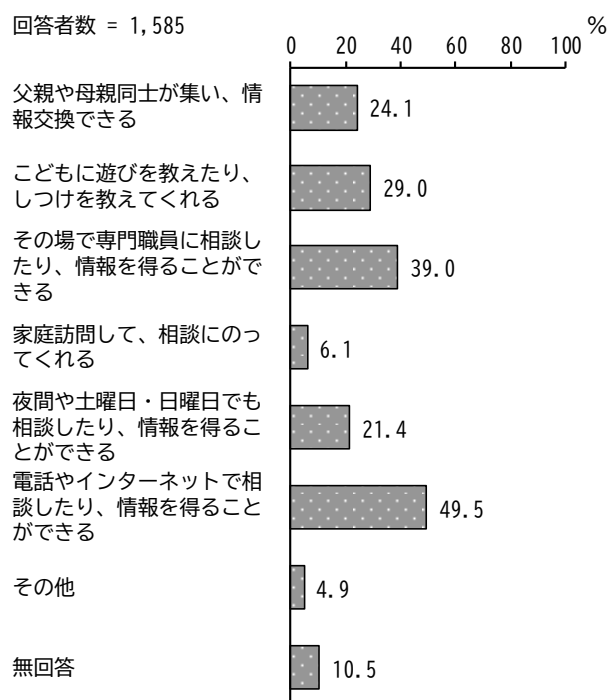
C. 今後利用したい

『⑦民生委員児童委員』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑨かまくら冒険遊び場・梶原／一日冒険遊び場』や『⑪市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。



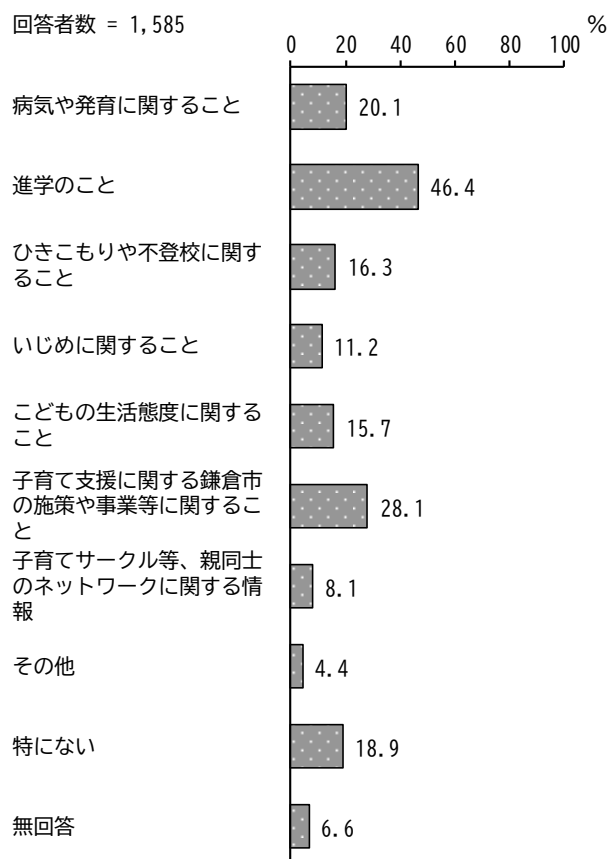
問 20 あなたは、身近な地域でどのような情報交換・相談の場があったらよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる」の割合が 39.0%、「こどもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる」の割合が 29.0%となっています。



問 21 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(あてはまる番号に3つまで○)

「進学のこと」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「子育て支援に関する鎌倉市の施策や事業等に関すること」の割合が 28.1%、「病気や発達に関すること」の割合が 20.1%となっています。

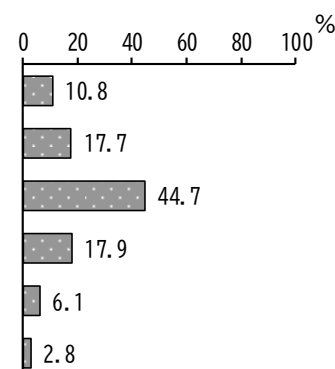


問 22 お住まいの地域（冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域）における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。（あてはまる番号1つに○）

「3」の割合が44.7%と最も高く、次いで「4」の割合が17.9%、「2」の割合が17.7%となっています。

回答者数 = 1,585

- 1 満足度が低い
- 2
- 3
- 4
- 5 満足度が高い
- 無回答

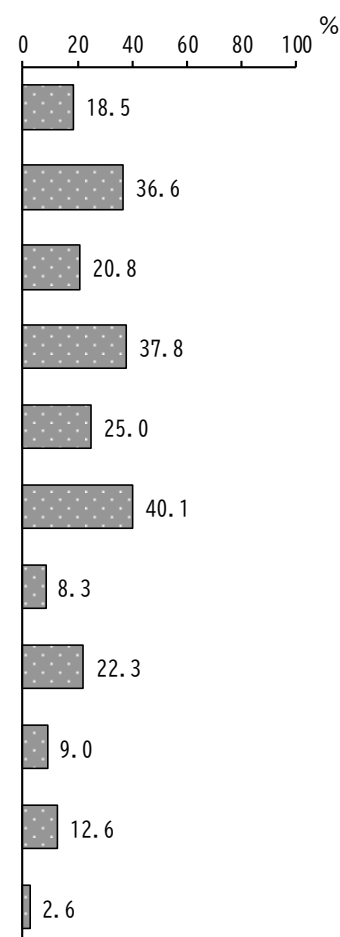


問 23 子育てをするにあたって、地域に求めることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「地域でこどもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」の割合が40.1%と最も高く、次いで「こども会やお祭りなど、こどもの参加できる活動や行事が増えてほしい」の割合が37.8%、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」の割合が36.6%となっています。

回答者数 = 1,585

- 子育ての相談や情報交換をしたい
- 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
- 遊びの相手やスポーツと一緒にしてほしい
- こども会やお祭りなど、こどもの参加できる活動や行事が増えてほしい
- 緊急時にこどもを預かってほしい
- 地域でこどもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい
- ともに子育てできるグループやサークルなどを一緒にやってほしい
- 子育て仲間や友人が地域にいてほしい
- その他
- 特に求めることはない
- 無回答

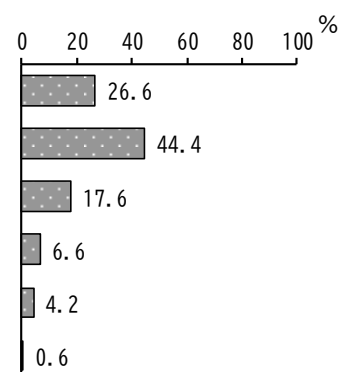


問 24 あなたは、こどもを育てている現在の生活に満足していますか。
(あてはまる番号1つに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が44.4%と最も高く、次いで「満足している」の割合が26.6%、「どちらともいえない」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 1,585

満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
無回答

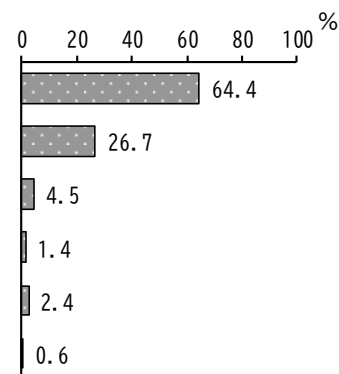


問 25 あなたは、子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまる番号1つに○)

「楽しいと感じることの方が多し」の割合が64.4%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 1,585

楽しいと感じることの方が多し
楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
辛いと感じることの方が多し
その他
わからない
無回答

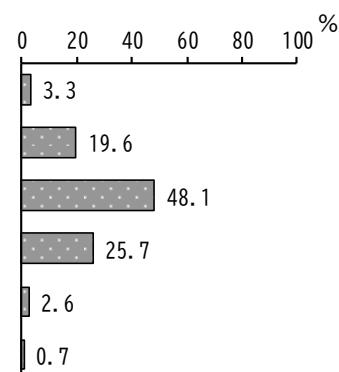


問 26 子育てにおいて孤立感を感じますか。(あてはまる番号1つに○)

「あまり感じない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が25.7%、「やや感じる」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 1,585

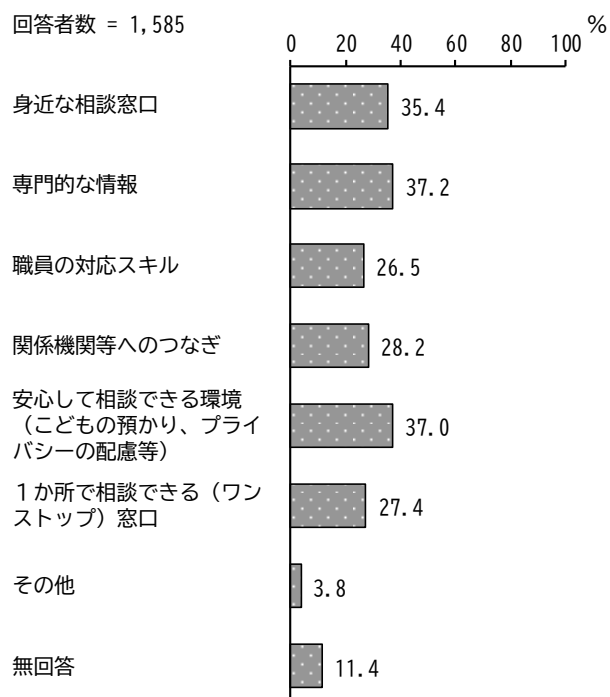
強く感じる
やや感じる
あまり感じない
全く感じない
わからない
無回答



問 27 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

「専門的な情報」の割合が 37.2%と最も高く、
次いで「安心して相談できる環境（こどもの預かり、
プライバシーの配慮等）」の割合が 37.0%、
「身近な相談窓口」の割合が 35.4%となっていま
す。

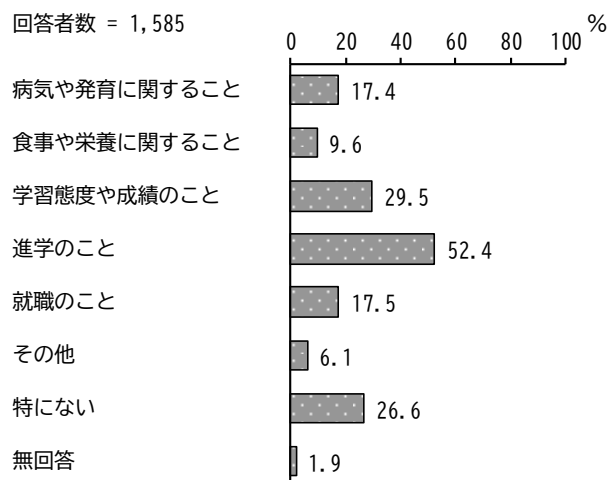
回答者数 = 1,585



(4) 子育ての相談について

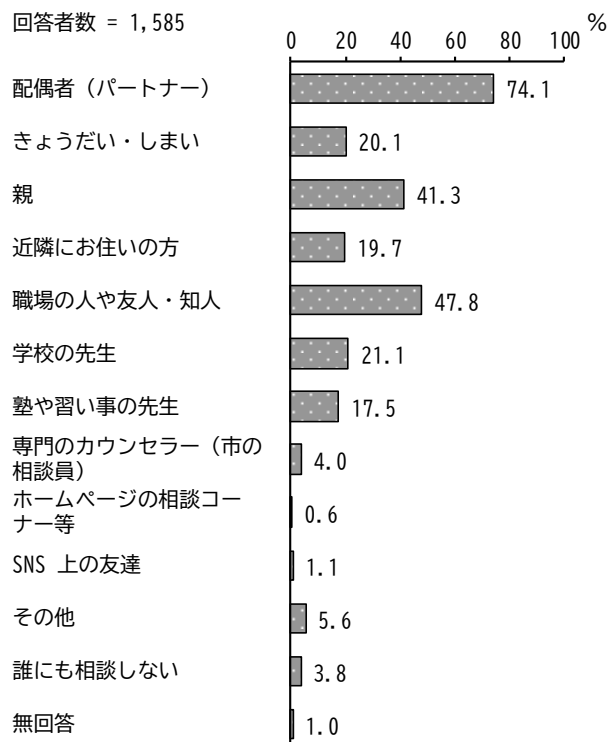
問 28 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「進学のこと」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「学習態度や成績のこと」の割合が 29.5%、「特にない」の割合が 26.6%となっています。



問 29 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「配偶者（パートナー）」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「職場の人や友人・知人」の割合が 47.8%、「親」の割合が 41.3%となっています。



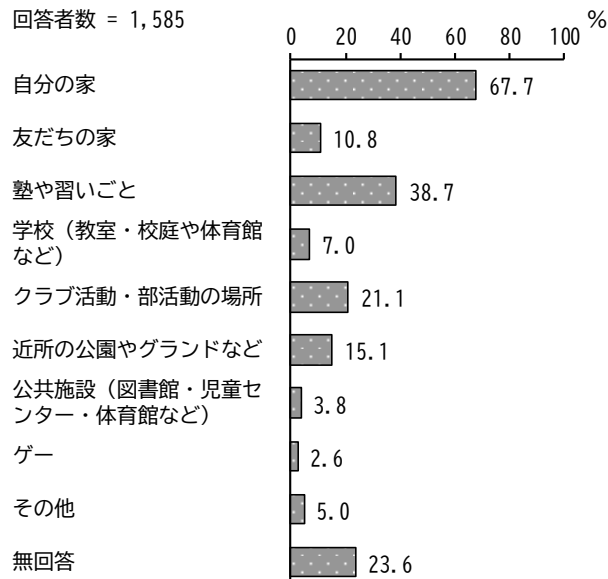
(5) 放課後や自由時間のすごしかたについて

問 30 宛名のお子さんは、放課後や勤務時間以外の自由時間に、どこで過ごすことが一番多いですか。また、過ごさせたいと思いますか。
(あてはまる番号をそれぞれ3つまで選んで、過ごすことが多い場所の欄、過ごさせたい場所の欄に番号を記入)

過ごすことが多い場所

「自分の家」の割合が67.7%と最も高く、次いで「塾や習いごと」の割合が38.7%、「クラブ活動・部活動の場所」の割合が21.1%となっています。

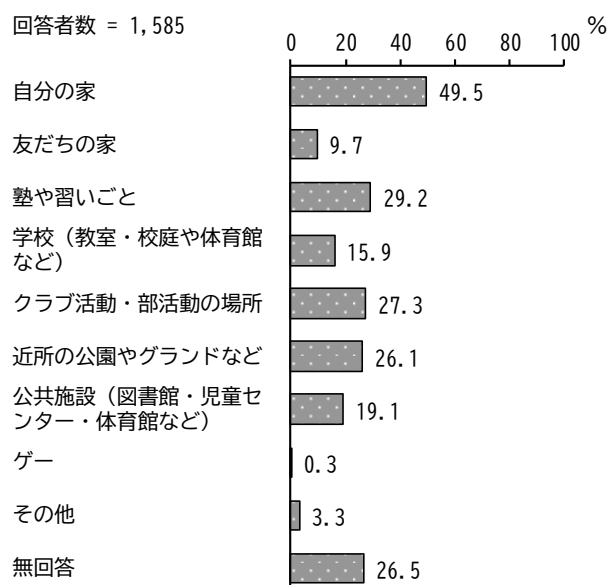
回答者数 = 1,585



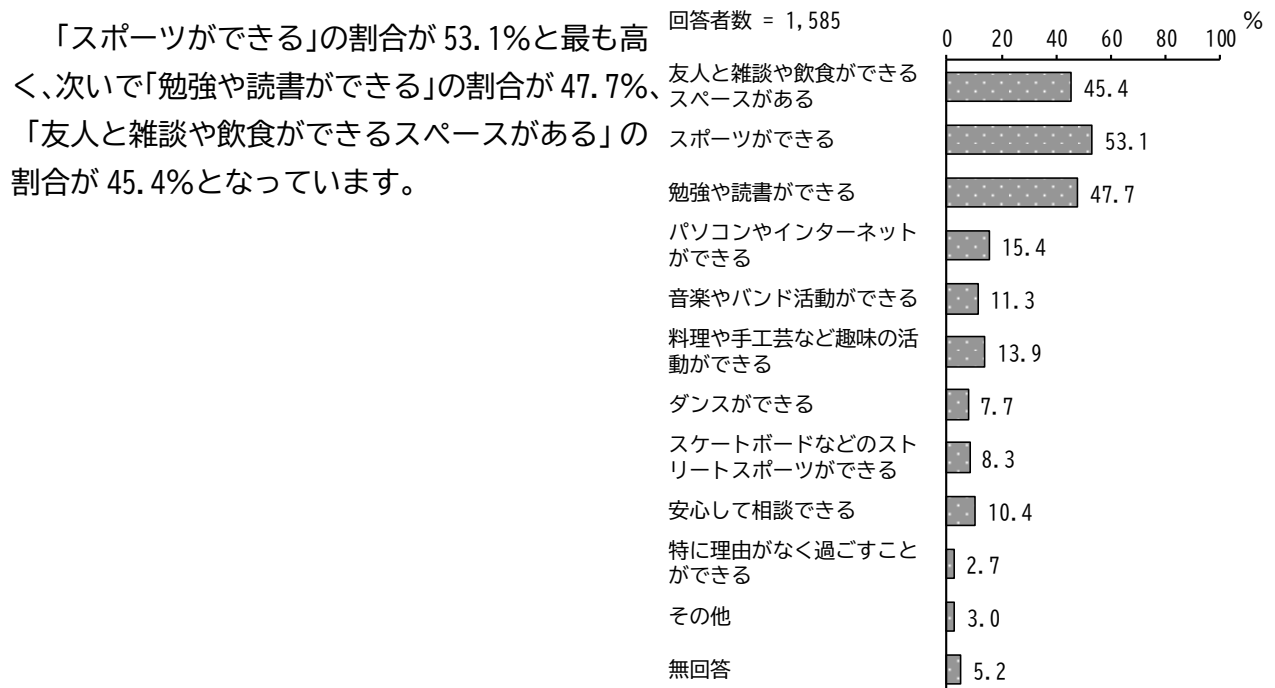
過ごさせたい場所

「自分の家」の割合が49.5%と最も高く、次いで「塾や習いごと」の割合が29.2%、「クラブ活動・部活動の場所」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 1,585



問 31 今後、宛名のお子さんが利用できる施設を整備するとしたら、どのような施設が
出来るとよいですか。(あてはまる番号に3つまで○)



(6) ヤングケアラーについて

問 32 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が83.8%と最も高くなっています。

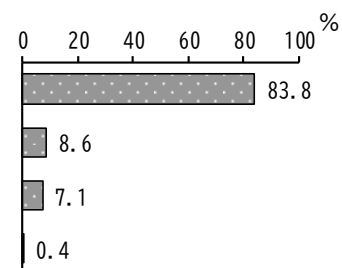
回答者数 = 1,585

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 33 ヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が41.6%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が36.7%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が31.8%となっています。

回答者数 = 1,585

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

保育所、幼稚園、学校に相談する

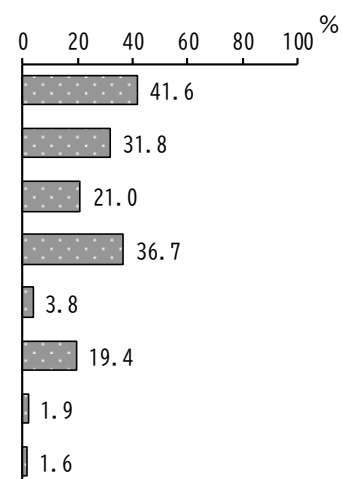
関係機関に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答



(7) こどもの権利について

問 34 あなたは、子育てをしていて、宛名のお子さんからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「常にしている」の割合が62.4%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が33.8%となっています。

回答者数 = 1,585

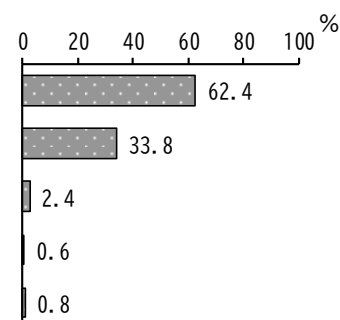
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

まったくしたことがない

無回答



問 35 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

「名前も内容も知っている」の割合が45.4%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」の割合が40.6%、「知らない」の割合が12.6%となっています。

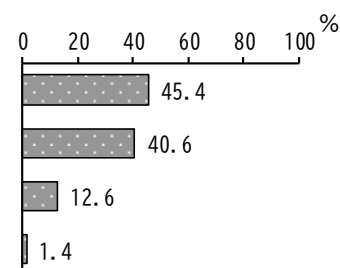
回答者数 = 1,585

名前も内容も知っている

名前は知っているが内容は知らない

知らない

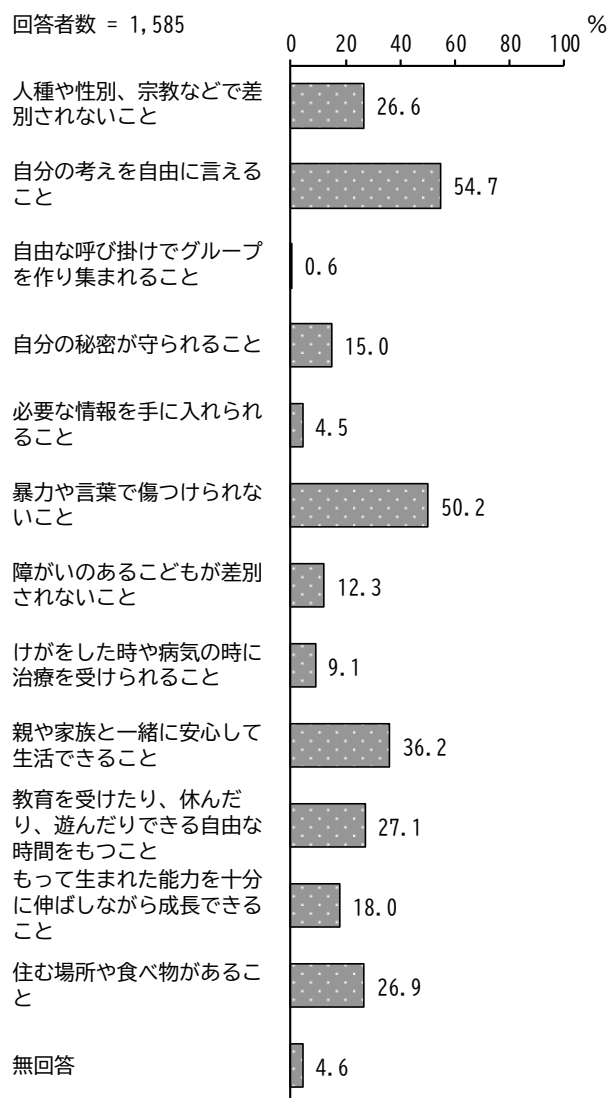
無回答



問 36 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。
(あてはまる番号に3つまで○)

「自分の考えを自由に言えること」の割合が54.7%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が50.2%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が36.2%となっています。

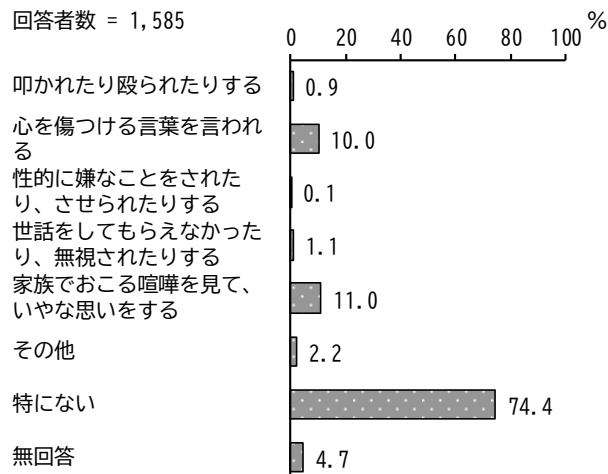
回答者数 = 1,585



問 37 あなたは、宛名のお子さんが大人（保護者や先生など）から次のことをされたことを最近気づいたり聞いたりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が74.4%と最も高く、次いで「家族でおこる喧嘩を見て、いやな思いをする」の割合が11.0%、「心を傷つける言葉を言われる」の割合が10.0%となっています。

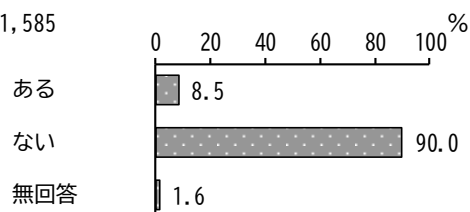
回答者数 = 1,585



問 38 あなたは、最近、宛名のお子さんのいじめ（いじめられる・いじめているの両方を含む）に気づいたことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

「ある」の割合が 8.5%、「ない」の割合が 90.0%となっています。

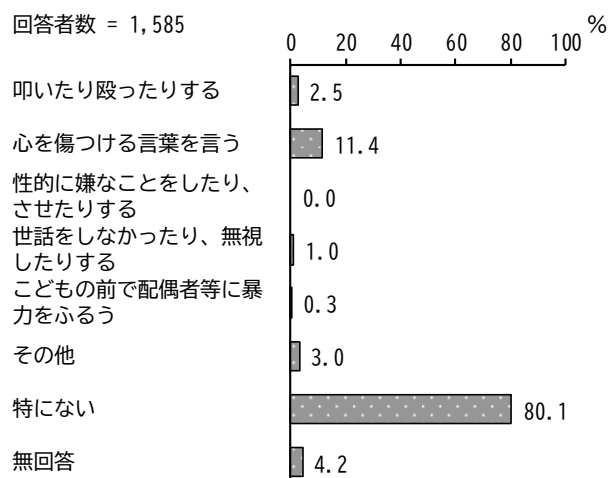
回答者数 = 1,585



問 39 あなたは、宛名のお子さんに次のことをすることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「特にない」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「心を傷つける言葉を言う」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 1,585

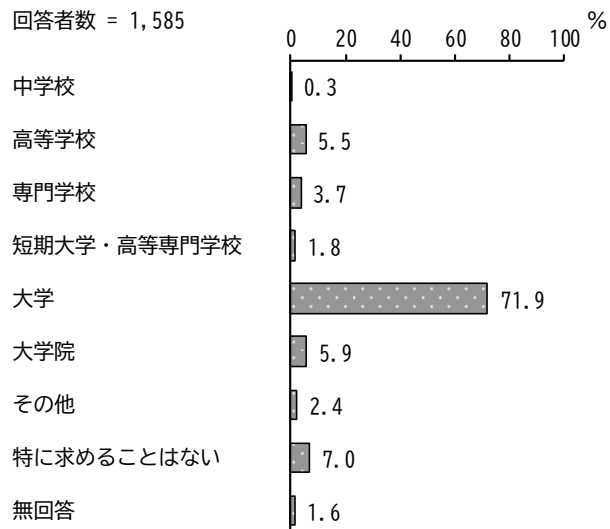


(8) こどもの教育について

問 40 あなたは、宛名のお子さんにどの程度まで進学してほしいと考えていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)
※お子さんが就労している場合は、問 42 へお進みください。

「大学」の割合が 71.9%と最も高くなっています。

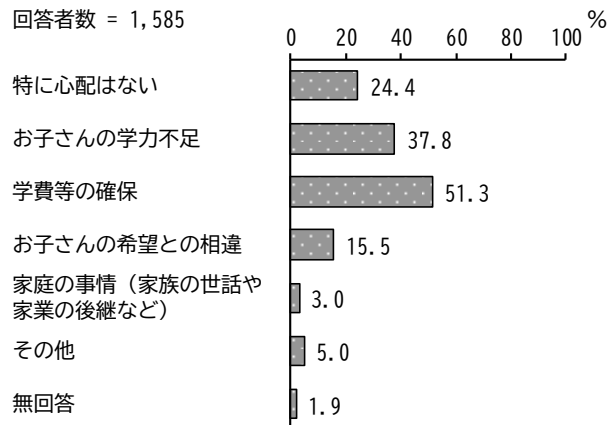
回答者数 = 1,585



問 41 宛名のお子さんの進学について心配なことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

「学費等の確保」の割合が 51.3%と最も高く、
次いで「お子さんの学力不足」の割合が 37.8%、
「特に心配はない」の割合が 24.4%となっています。

回答者数 = 1,585

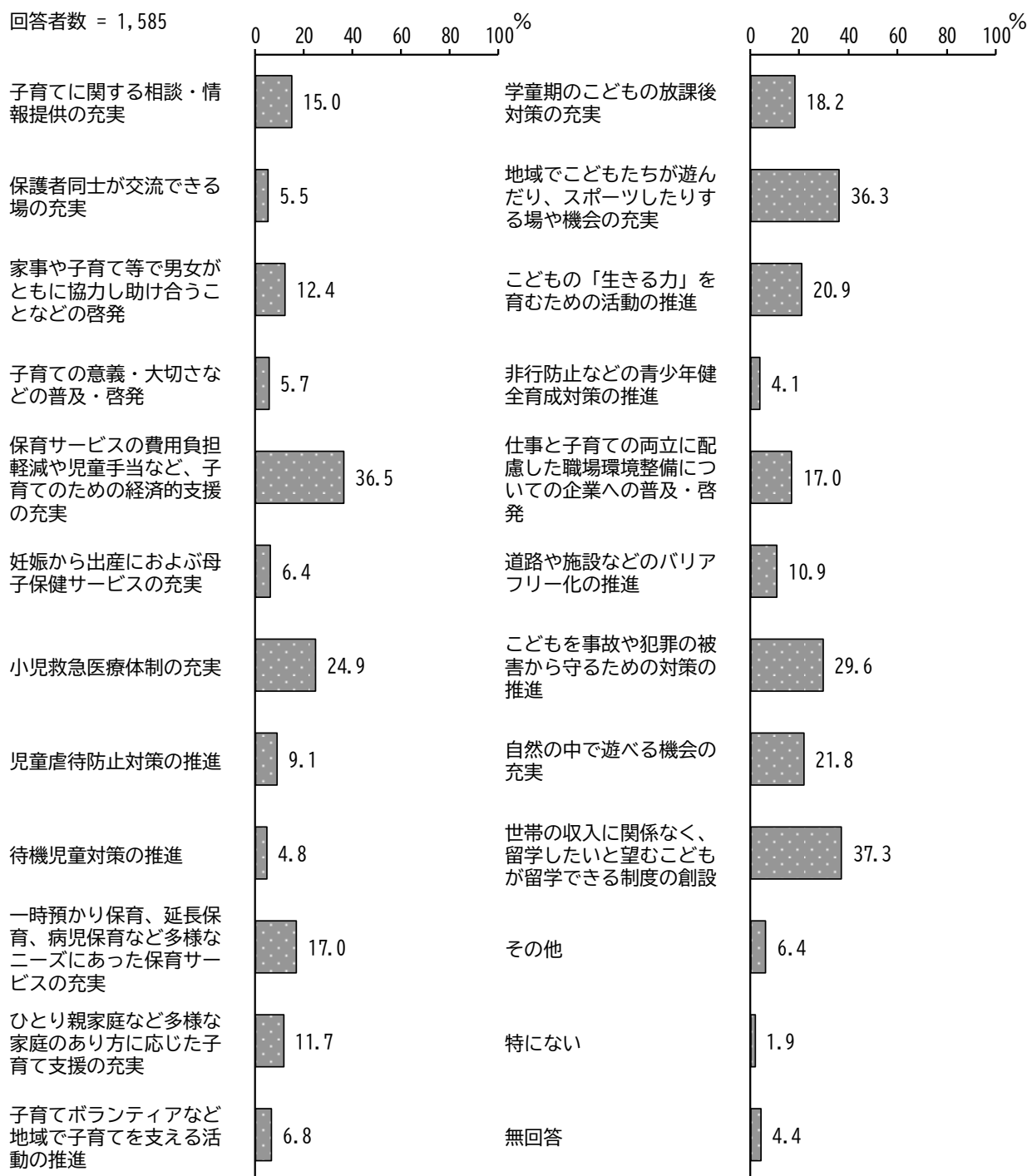


(9) 子育て政策について

問 42 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。
(あてはまる番号5つまでに○)

「世帯の収入に関係なく、留学したいと望むこどもが留学できる制度の創設」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」の割合が 36.5%、「地域でこどもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実」の割合が 36.3%となっています。

回答者数 = 1,585



3 こども（小学6年生～高校生等）本人

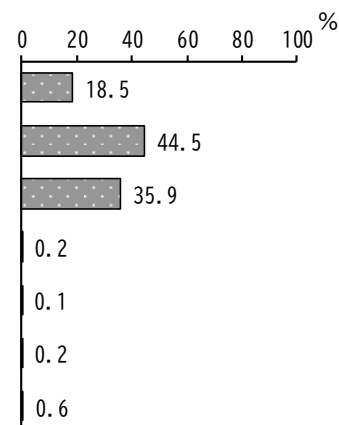
（1）ふだんの生活について

問3 あなたは現在、次のどれにあてはまりますか。中学校、高校及び専修学校等に在
校している場合は、学年も記入してください。（あてはまる番号1つに○）

「中学何年生」の割合が44.5%と最も高く、次
いで「高校何年生」の割合が35.9%、「小学6年
生」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 1,424

小学6年生
中学何年生
高校何年生
専修学校等何年生
就労している
その他
無回答

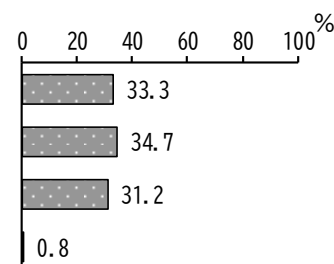


中学何年生

「2年生」の割合が34.7%と最も高く、次いで
「1年生」の割合が33.3%、「3年生」の割合が
31.2%となっています。

回答者数 = 634

1年生
2年生
3年生
無回答

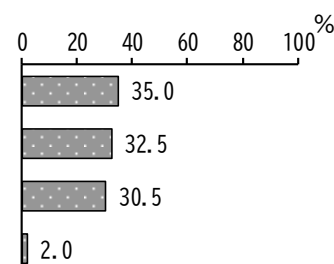


高校何年生

「1年生」の割合が35.0%と最も高く、次いで
「2年生」の割合が32.5%、「3年生」の割合が
30.5%となっています。

回答者数 = 511

1年生
2年生
3年生
無回答

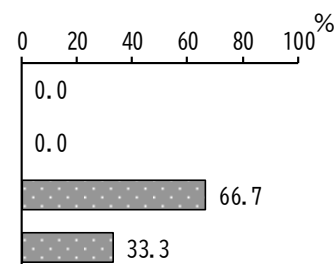


専修学校等何年生

「3年生」が2件となっています。

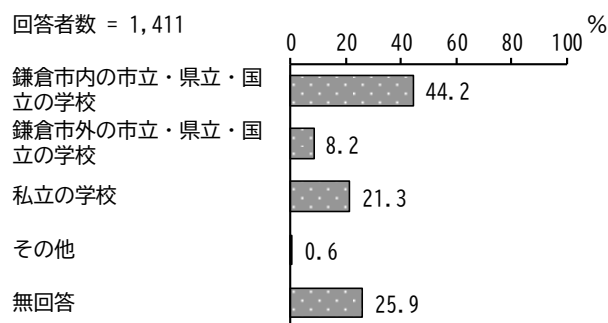
回答者数 = 3

1年生
2年生
3年生
無回答



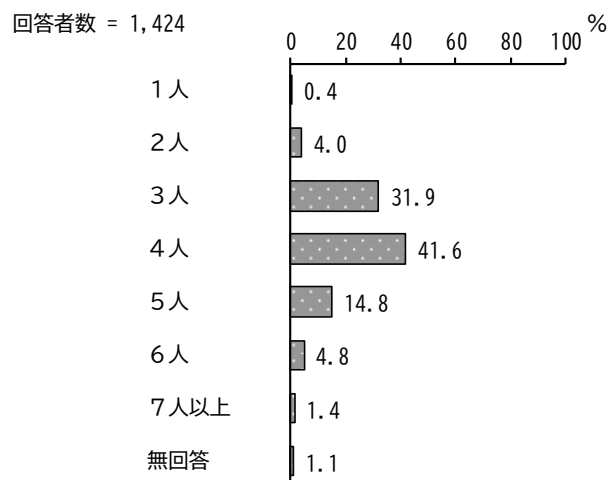
問3-1 問3で「小学6年生」～「専修学校等」に○をつけた方にうかがいます。あなたが通っている学校の種類を選んでください。(あてはまる番号1つに○)

「鎌倉市内の市立・県立・国立の学校」の割合が44.2%と最も高く、次いで「私立の学校」の割合が21.3%となっています。



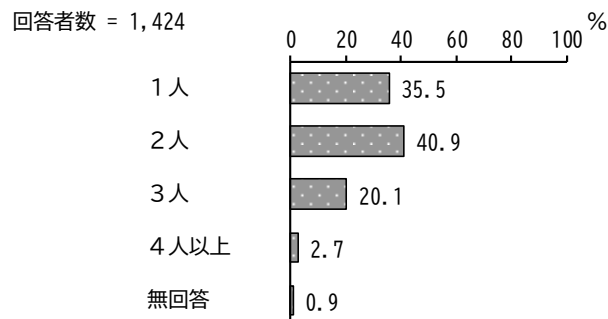
問4 あなたと一緒に住んでいる家族は何人ですか。※玄関は別でも、となりあっている、2世帯住宅の場合は、同居しているものとして合計人数を書いてください。

「4人」の割合が41.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が31.9%、「5人」の割合が14.8%となっています。



問5 あなたは、何人きょうだい・しまいですか。(あなたを含めて)
(あてはまる番号1つに○)

「2人」の割合が40.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が35.5%、「3人」の割合が20.1%となっています。



問6 あなたは学校や仕事がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。
(あてはまる番号1つに○)

「午前7時～7時29分」の割合が29.4%と最も高く、次いで「午前6時30分～6時59分」の割合が27.9%、「午前6時～6時29分」の割合が22.1%となっています。

回答者数 = 1,424

午前6時より前

午前6時～6時29分

午前6時30分～6時59分

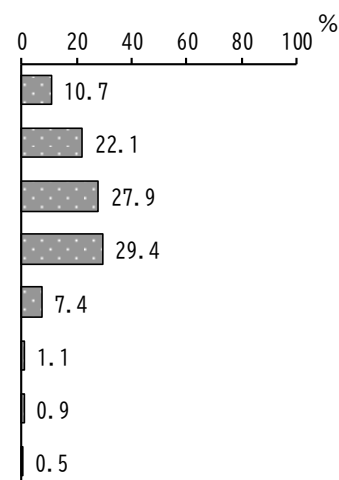
午前7時～7時29分

午前7時30分～7時59分

午前8時～8時29分

午前8時30分以降

無回答



問7 あなたは朝ごはんを食べていますか。(あてはまる番号1つに○)

「ほとんど毎日食べる」の割合が85.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,424

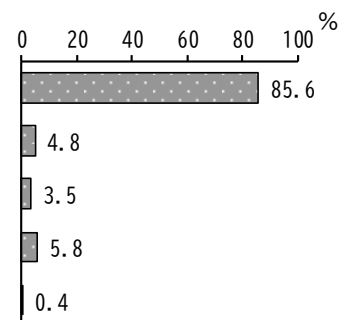
ほとんど毎日食べる

週4～5日は食べる

週2～3日は食べる

ほとんど食べない

無回答



問7-1 問7で「週4～5日は食べる」～「ほとんど食べない」に○をつけた方にうかがいます。あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○)

「食べる時間がないから」の割合が55.0%と最も高く、次いで「食べたくないから（食欲がないから）」の割合が28.5%となっています。

回答者数 = 200

食べる時間がないから

食べたくないから（食欲がないから）

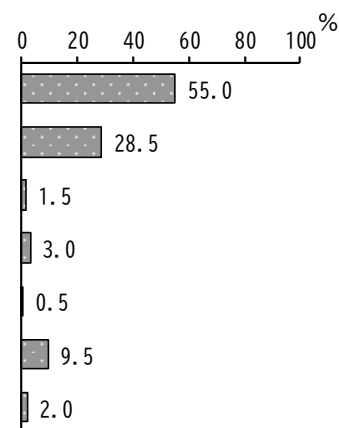
太りたくないから

朝ごはんの用意がないから

おうちの人も朝ごはんを食べていないから

その他

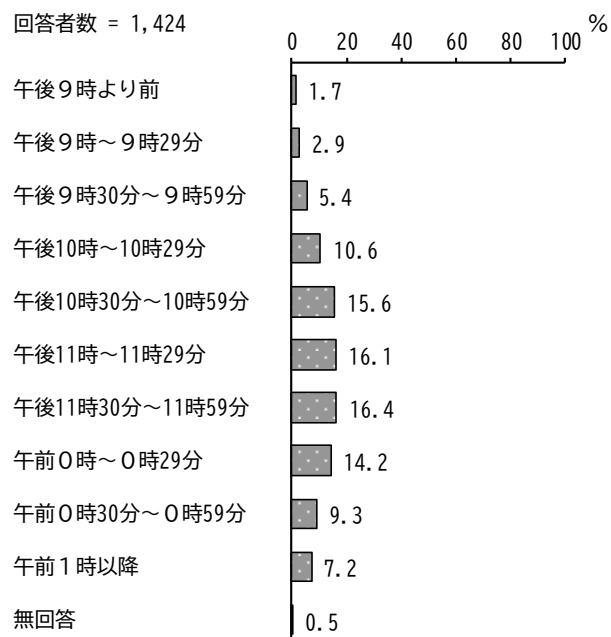
無回答



問8 あなたは、次の日に学校や仕事がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。
(あてはまる番号1つに○)

「午後11時30分～11時59分」の割合が16.4%と最も高く、次いで「午後11時～11時29分」の割合が16.1%、「午後10時30分～10時59分」の割合が15.6%となっています。

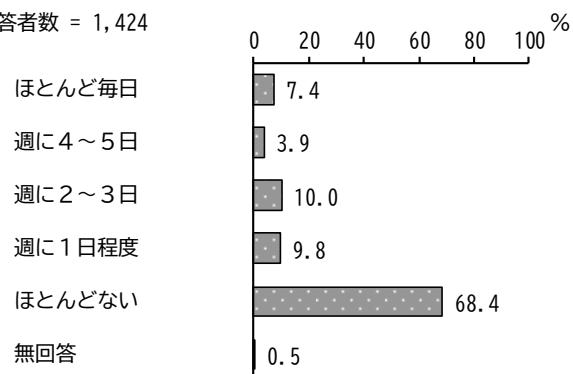
回答者数 = 1,424



問9 あなたは、夕ごはんをこども（18歳以下）だけで食べることがありますか。
(あてはまる番号1つに○)

「ほとんどない」の割合が68.4%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 1,424



問 10 あなたは、次のものを持っている、または自宅にあって自由に使うことができますか。(あてはまる番号全てに○)

「スマートフォンやタブレット」の割合が93.7%と最も高く、次いで「自分の部屋（きょうだい・しまいで一緒に使う場合も含む）」の割合が81.7%、「テレビ」の割合が80.7%となっています。

回答者数 = 1,424

自分の部屋（きょうだい・しまいで一緒に使う場合も含む）

インターネットにつながるパソコン

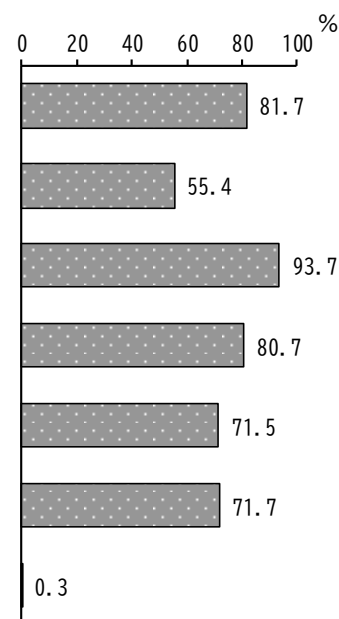
スマートフォンやタブレット

テレビ

ゲーム機（スマートフォンやタブレット以外の家庭用のもの）

バイクや自転車

無回答



問 10-1 問 10 で「インターネットにつながるパソコン」、「スマートフォンやタブレット」に○をつけた方にうかがいます。
どのようなことしていますか。(あてはまる番号全てに○)

「動画サイトを見る」の割合が90.9%と最も高く、次いで「SNS のやりとり」の割合が69.3%、「インターネットでのゲーム」の割合が61.1%となっています。

回答者数 = 1,365

SNS のやりとり

ホームページやブログを見る

動画サイトを見る

音楽などのダウンロード

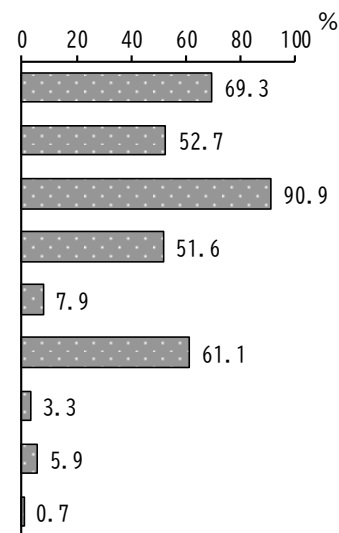
動画サイトに投稿する

インターネットでのゲーム

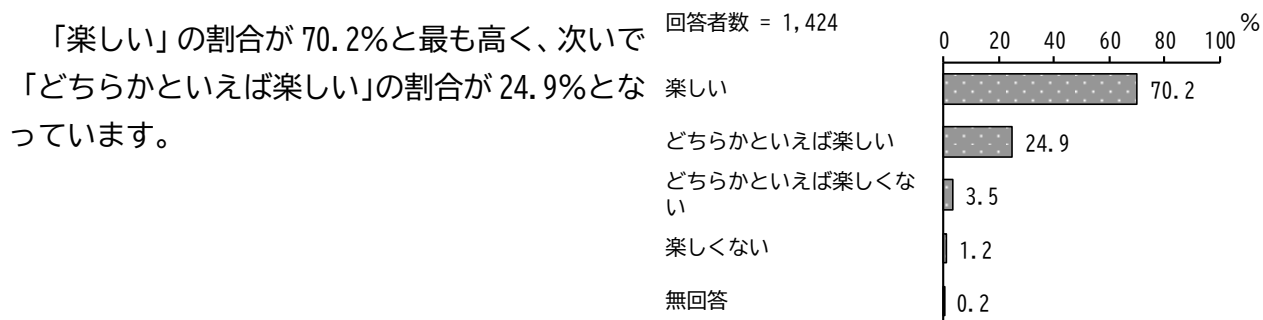
他の人のホームページやブログへの書き込み

その他

無回答

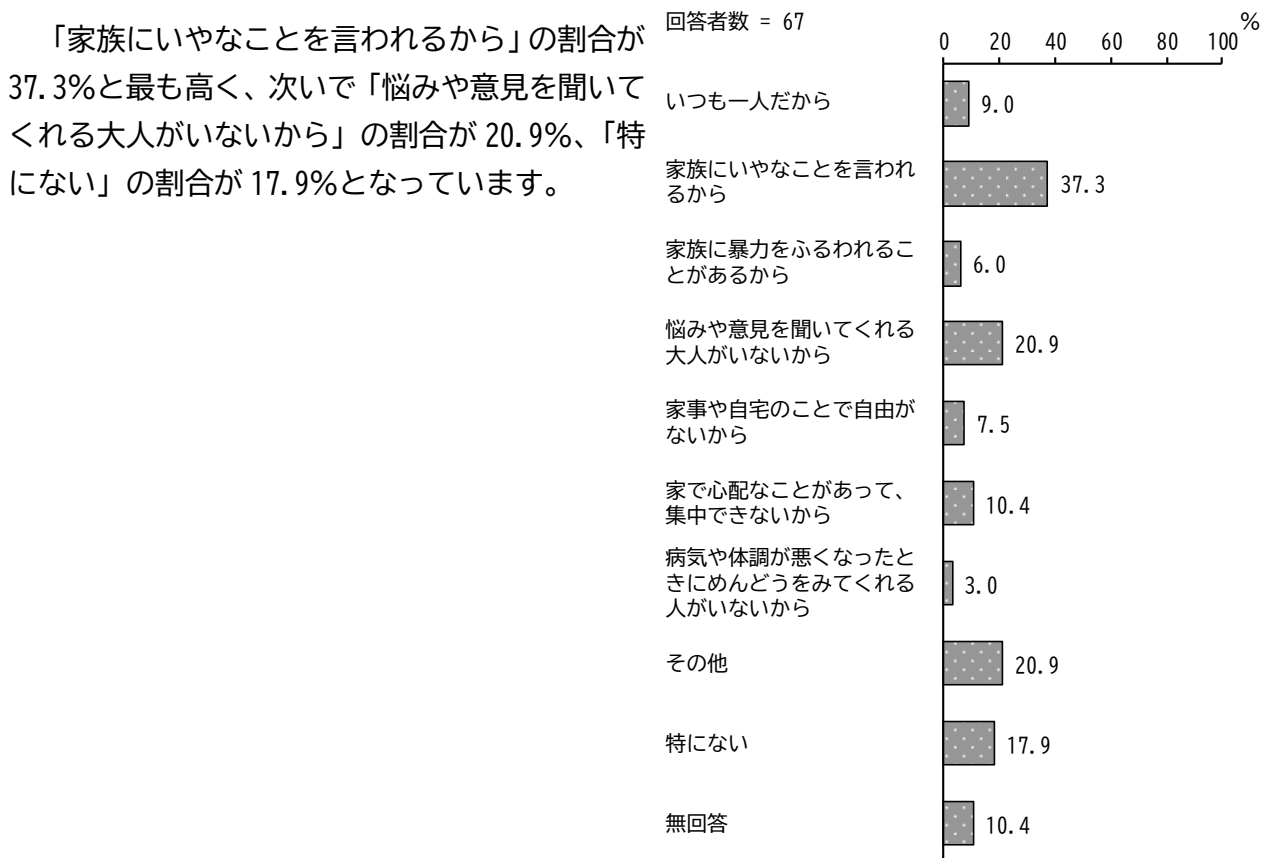


問 11 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(あてはまる番号 1 つに○)



問 11-1 問 11 で「どちらかといえば楽しくない」～「楽しくない」に○をつけた方にうかがいます。

楽しくない理由は何ですか。(あてはまる番号全てに○)



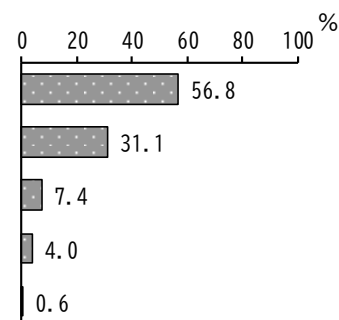
(2) 学校について

問12 問3で「小学6年生」～「専修学校等」に○をつけた方にうかがいます。
 ※問3で「就労している」「その他」に○をつけた方は問15へお進みください。
 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまる番号1つに○)

「楽しい」の割合が56.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が31.1%となっています。

回答者数 = 1,411

楽しい
 どちらかといえば楽しい
 どちらかといえば楽しくない
 楽しくない
 無回答

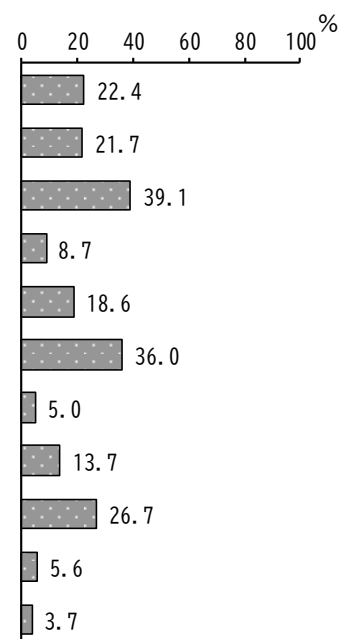


問12-1 問12で「どちらかといえば楽しくない」～「楽しくない」に○をつけた方にうかがいます。
 楽しくない理由は何ですか。(あてはまる番号全てに○)

「いやな友だちがいるから」の割合が39.1%と最も高く、次いで「なんでも自由にできないから」の割合が36.0%、「授業がわからないから」の割合が22.4%となっています。

回答者数 = 161

授業がわからないから
 友だちがいないから
 いやな友だちがいるから
 先生が悩みや意見を聞いてくれないから
 学校のきまり(校則)がきびしいから
 なんでも自由にできないから
 家で心配なことがあって、集中できないから
 夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから
 その他
 特にない
 無回答

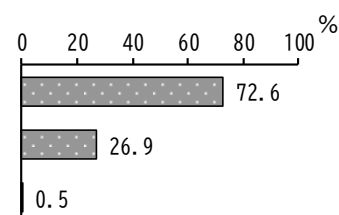


問13 あなたは学校のクラブ活動に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

「参加している」の割合が72.6%、「参加していない」の割合が26.9%となっています。

回答者数 = 1,411

参加している
 参加していない
 無回答



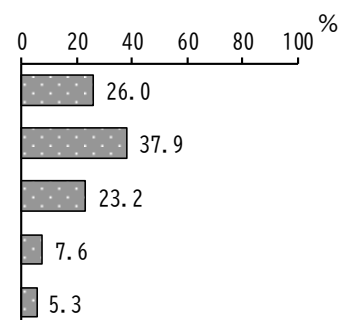
問 13-1 問 13 で「参加している」に○をつけた方にうかがいます。
 クラブ活動は、だいたいどれくらい行っていますか。平日・土曜日・日曜日ごとに
 日数と1日の活動時間を教えてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

平日〈日数〉

「週に3～4日」の割合が37.9%と最も高く、
 次いで「週に1～2日」の割合が26.0%、「ほと
 んど毎日」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 1,025

週に1～2日
 週に3～4日
 ほとんど毎日
 活動していない
 無回答

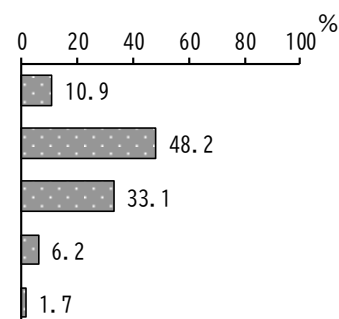


平日〈1日の活動時間〉

「1～2時間」の割合が48.2%と最も高く、次
 いで「2～3時間」の割合が33.1%、「1時間未
 満」の割合が10.9%となっています。

回答者数 = 893

1時間未満
 1～2時間
 2～3時間
 3時間以上
 無回答

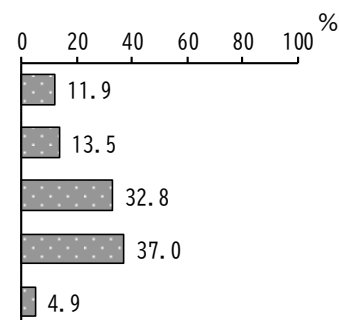


土曜日 〈日数〉

「活動していない」の割合が37.0%と最も高
 く、次いで「毎週」の割合が32.8%、「月に3～
 4日」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 1,025

月に1～2日
 月に3～4日
 毎週
 活動していない
 無回答

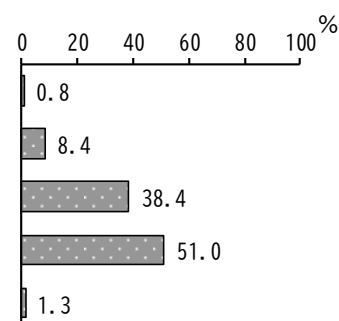


平日〈1日の活動時間〉

「3時間以上」の割合が51.0%と最も高く、次
 いで「2～3時間」の割合が38.4%となっていま
 す。

回答者数 = 596

1時間未満
 1～2時間
 2～3時間
 3時間以上
 無回答

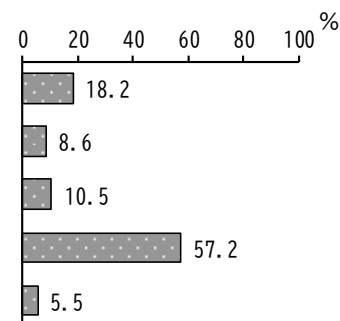


日曜日 〈日数〉

「活動していない」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「月に1～2日」の割合が 18.2%、「毎週」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 1,025

月に1～2日
月に3～4日
毎週
活動していない
無回答

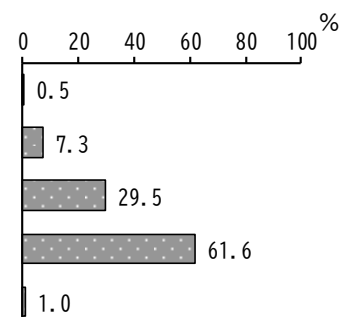


平日〈1日の活動時間〉

「3時間以上」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「2～3時間」の割合が 29.5%となっています。

回答者数 = 383

1時間未満
1～2時間
2～3時間
3時間以上
無回答

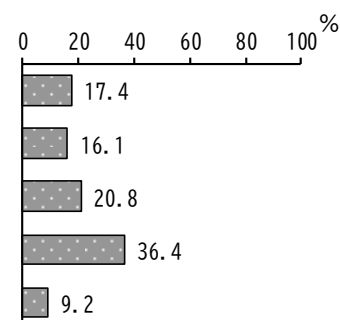


問13－2 問13で「参加していない」に○をつけた方にうかがいます。クラブ活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

「自由な時間がなくなるから」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「やってみたいと思う活動がないから」の割合が 17.4%、「塾や習い事などで忙しいから」の割合が 16.1%となっています。

回答者数 = 379

やってみたいと思う活動がないから
塾や習い事などで忙しいから
自由な時間がなくなるから
その他
無回答



問 14 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(あてはまる番号 1 つに○)

「大学またはそれ以上」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 15.8%となっています。

回答者数 = 1,411

中学校まで

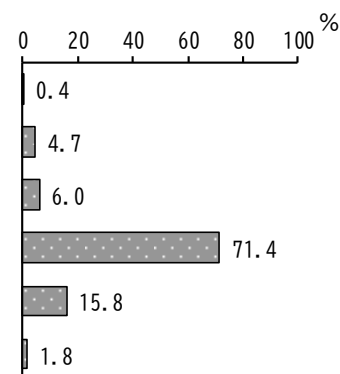
高等学校まで

短期大学・高等専門学校・
専門学校まで

大学またはそれ以上

まだわからない

無回答



問 14-1 問 14 で選択したその理由について、うかがいます。
(あてはまる番号全てに○)

「希望する学校や職業があるから」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 16.7%、「働きたい職業がわからないから」の割合が 15.7%となっています。

回答者数 = 1,411

希望する学校や職業があるから

自分の成績から考えて

親がそう言っているから

兄・姉がそうしているから

まわりの先輩や友だちがそうしているから

家にお金がないと思うから

早く働く必要があるから

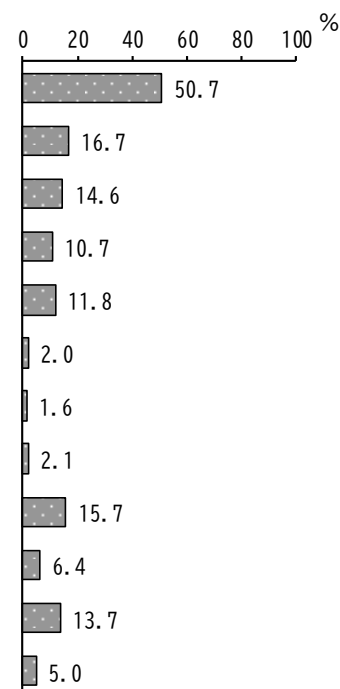
働きたくないから

働きたい職業がわからないから

その他

特に理由はない

無回答



(3) 放課後や自由時間のすごしかたについて

問 15 あなたは放課後や自由時間が楽しいですか。(あてはまる番号 1 つに○)

「楽しい」の割合が 78.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 17.5%となっています。

回答者数 = 1,424

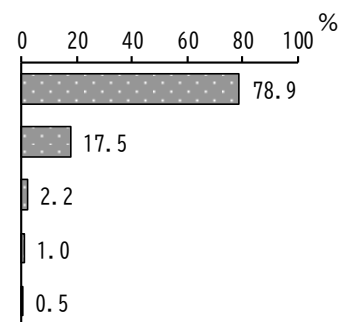
楽しい

どちらかといえば楽しい

どちらかといえば楽しくない

楽しくない

無回答



問 15-1 問 15 で「どちらかといえば楽しくない」～「楽しくない」に○をつけた方にうかがいます。

楽しくない理由は何ですか。(あてはまる番号全てに○)

「一緒にいる友だちがいないから」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「いやな友だちがいるから」の割合が 20.0%、「なんでも自由にできないから」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 45

一緒にいる友だちがいないから

いやな友だちがいるから

悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから

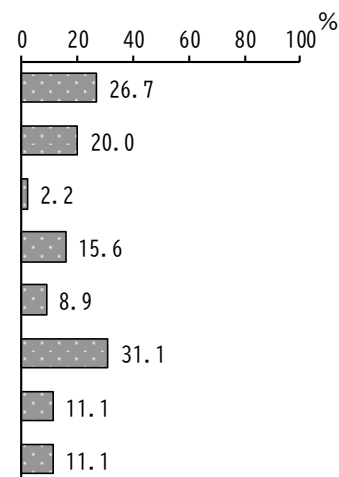
なんでも自由にできないから

家で心配なことがあって、集中できないから

その他

特にない

無回答



問 16 あなたは放課後や自由時間に、だれと一緒に過ごすことが一番多いですか。(あてはまる番号 1 つに○)

「学校や職場の友だち」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「家族のおとな」の割合が 25.4%、「一人でのいる」の割合が 19.0%となっています。

回答者数 = 1,424

家族のおとな

家族以外のおとな

学校や職場の友だち

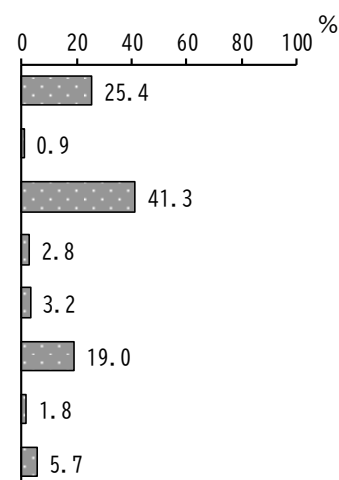
学校や職場以外の友だち

きょうだい

一人でのいる

その他

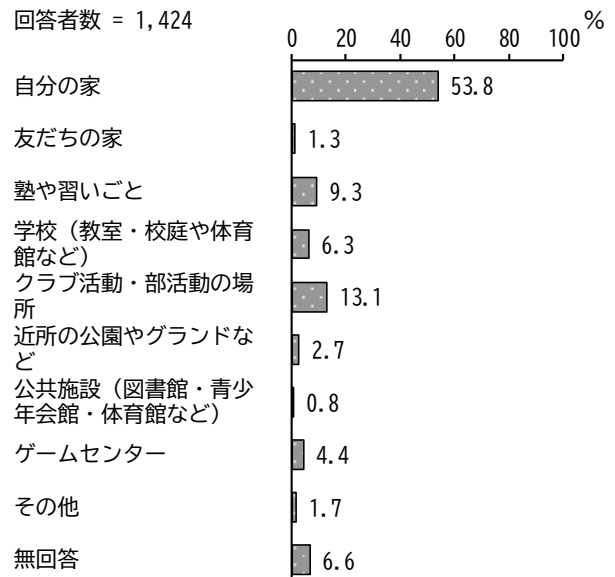
無回答



問 17 あなたは放課後や自由時間に、どこで過ごすことが一番多いですか。
(あてはまる番号 1 つに○)

「自分の家」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「クラブ活動・部活動の場所」の割合が 13.1%となっています。

回答者数 = 1,424



(4) ヤングケアラーについて

問 18 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 34.8%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 16.4%となっています。

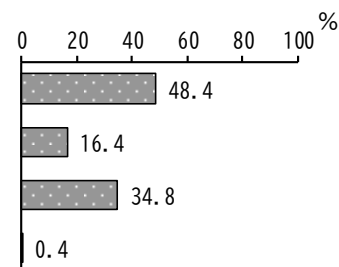
回答者数 = 1,424

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 19 あなたは、自分の勉強時間や遊ぶ時間を削ってでも、お世話をしなければいけない家族はいますか。(あてはまる番号 1 つに○)

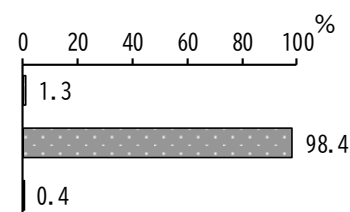
「いる」の割合が 1.3%、「いない」の割合が 98.4%となっています。

回答者数 = 1,424

いる

いない

無回答



問 19-1 問 19 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号全てに○)

「祖母」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「父親」、「祖父」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 18

父親

母親

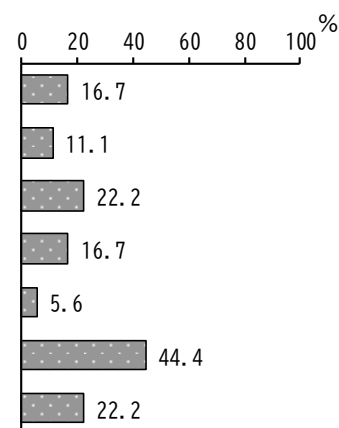
祖母

祖父

きょうだい

その他

無回答

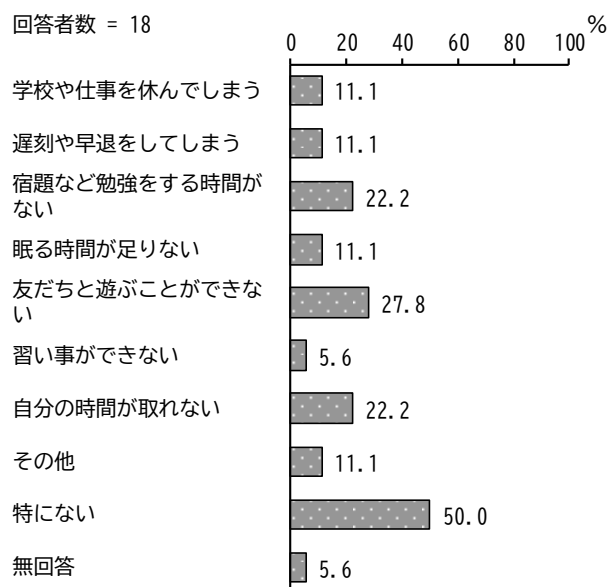


問 19－2 問 19 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。

お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(あてはまる番号全てに○)

「特にない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶことができない」の割合が 27.8%、「宿題など勉強をする時間がない」、「自分の時間が取れない」の割合が 22.2%となっています。

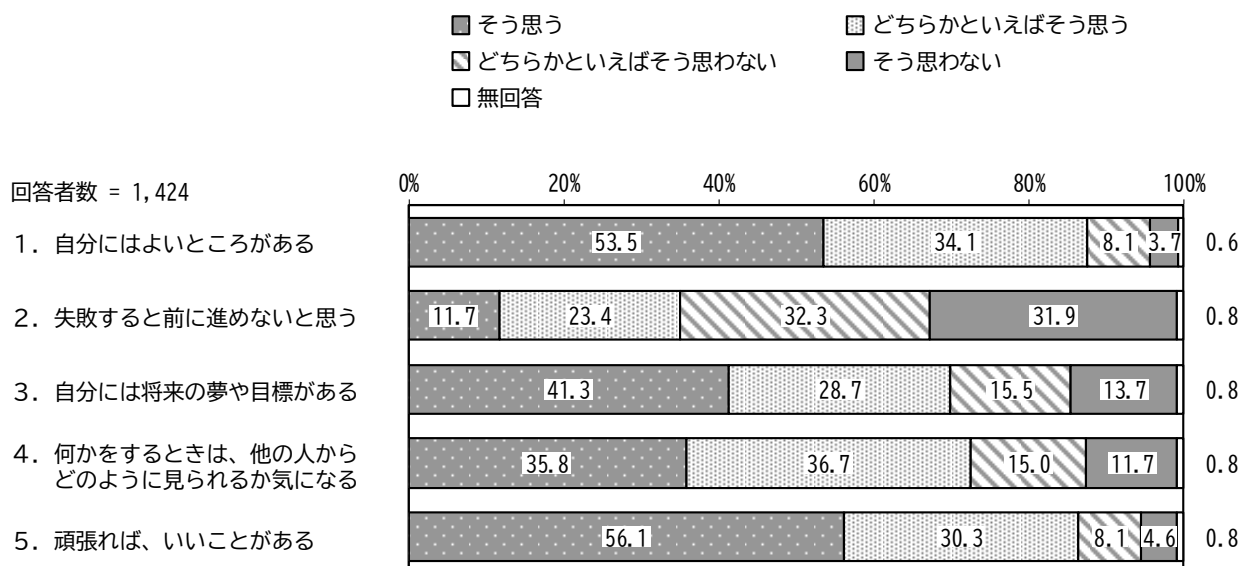
回答者数 = 18



(5) あなたの考えについて

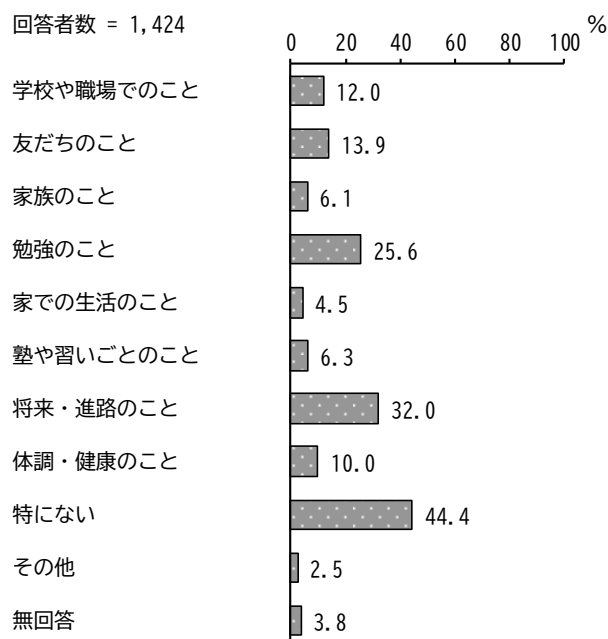
問 20 あなたは、自分のことについてどう思いますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

『1. 自分にはよいところがある』、『5. 頑張れば、いいことがある』で「そう思う」の割合が、『2. 失敗すると前に進めないと思う』で「そう思わない」の割合が高くなっています。



問 21 あなたは、今悩んでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。(あてはまる番号全てに○)

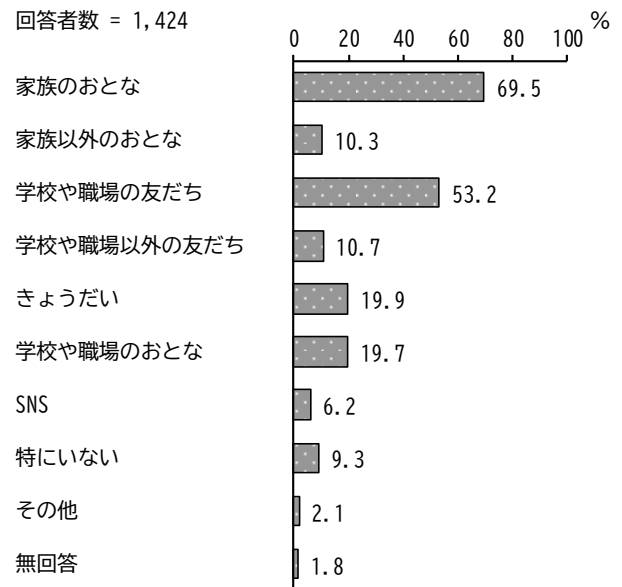
「特にない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「将来・進路のこと」の割合が 32.0%、「勉強のこと」の割合が 25.6%となっています。



問 22 心配ごとや悩みがあるとき、だれなら相談できそうですか。
(あてはまる番号全てに○)

「家族のおとな」の割合が 69.5%と最も高く、
次いで「学校や職場の友だち」の割合が 53.2%、
「きょうだい」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 1,424



(6) こどもの権利について

問 23 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

「そう思う」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 1,424

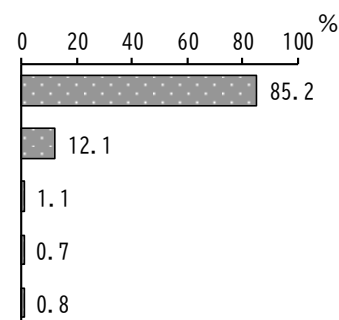
そう思う

どちらかといえばそう思う

どちらかといえばそう思わない

そう思わない

無回答



問 24 あなたは、親や家族の人にあなたの意見を聞いてもらっていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

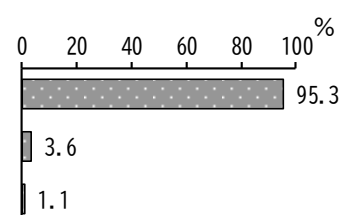
「はい」の割合が 95.3%、「いいえ」の割合が 3.6%となっています。

回答者数 = 1,424

はい

いいえ

無回答



問 25 あなたは、学校の先生や職場の方にあなたの意見を聞いてもらっていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

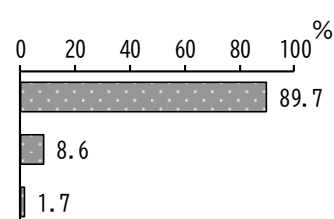
「はい」の割合が 89.7%、「いいえ」の割合が 8.6%となっています。

回答者数 = 1,424

はい

いいえ

無回答



問 26 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。または、したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

「どちらもない」の割合が76.3%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 1,424

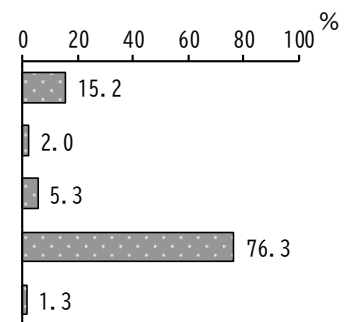
差別や暴力、いじめを受けた

差別や暴力、いじめをした

どちらもある

どちらもない

無回答



問 27 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(あてはまる番号に3つまで○)

「自分の考えを自由に言えること」の割合が44.5%と最も高く、次いで「住む場所や食べ物があること」の割合が40.0%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が30.3%となっています。

回答者数 = 1,424

人種や性別、宗教などで差別されないこと

自分の考えを自由に言えること

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

自分の秘密が守られること

必要な情報を手に入れられること

暴力や言葉で傷つけられないこと

障がいのあるこどもが差別されないこと

けがをした時や病気の時に治療を受けられること

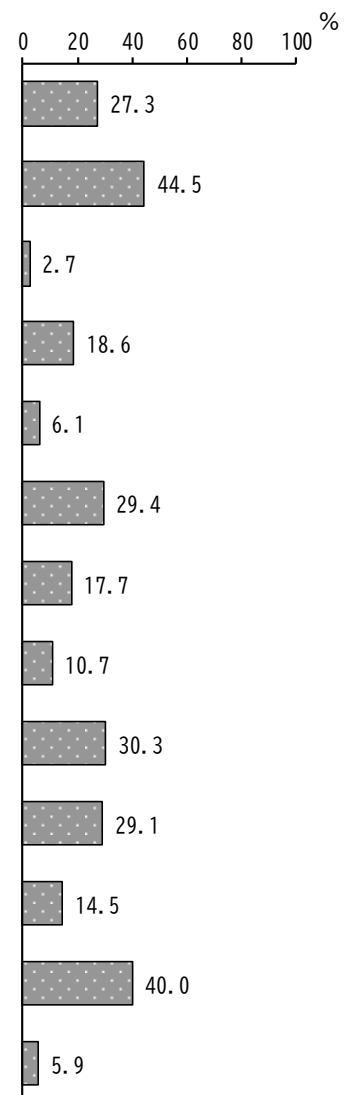
親や家族と一緒に安心して生活できること

教育を受けたり、休んだり、遊んだりできる自由な時間をもつこと

もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること

住む場所や食べ物があること

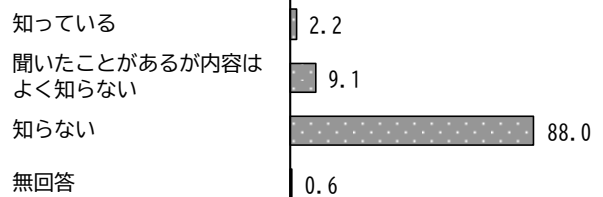
無回答



問 28 あなたは、令和2年3月に制定した「子どもがのびのびと自分らしく育つまち鎌倉条例（鎌倉市子どもの権利に関する条例）を知っていますか。
（あてはまる番号1つに○）

「知らない」の割合が88.0%と最も高くなっています。

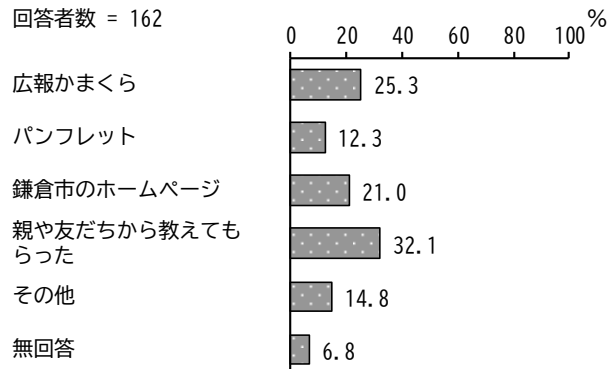
回答者数 = 1,424



問 28-1 問 28 で「知っている」か「聞いたことがあるが内容はよく知らない」に○をつけた方にうかがいます。
どのように知りましたか。（あてはまる番号全てに○）

「親や友だちから教えてもらった」の割合が32.1%と最も高く、次いで「広報かまくら」の割合が25.3%、「鎌倉市のホームページ」の割合が21.0%となっています。

回答者数 = 162



(7) 地域でのことについて

問 29 あなたが、この1年間に参加した地域活動は、次のうちどれですか。
(あてはまる番号全てに○)

「参加したことはない」の割合が44.6%と最も高く、次いで「地域のお祭り、盆踊り」の割合が43.1%、「ラジオ体操」、「ボランティア活動（地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、高齢者施設の訪問など）」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 1,424

ラジオ体操

市民運動会

地域のお祭り、盆踊り

キャンプなどの野外活動

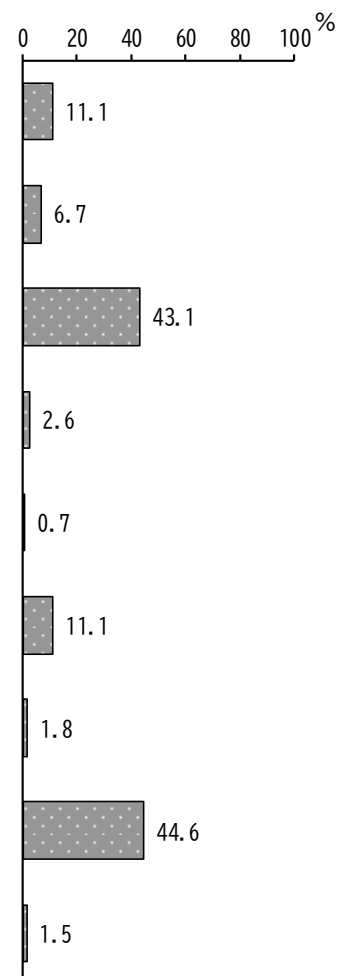
ボーイスカウト・ガールスカウトなどの活動

ボランティア活動（地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、高齢者施設の訪問など）

その他

参加したことはない

無回答



問 30 地域で何かを決めるとき、大人は、あなたの意見を聞いていますか。
(あてはまる番号1つに○)

「聞いてくれる」の割合が39.3%と最も高く、
次いで「時々聞いてくれる」の割合が22.3%、「聞
いてくれない」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 1,424

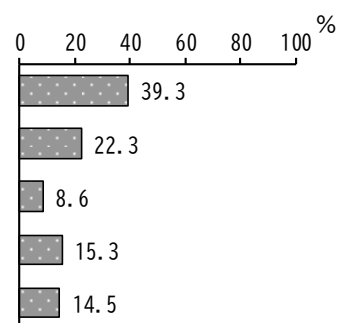
聞いてくれる

時々聞いてくれる

あまり聞いてくれない

聞いてくれない

無回答



問 31 あなたは、次の鎌倉市の施設を使ったことがありますか。
(あてはまる番号全てに○)

「市の公園」の割合が72.8%と最も高く、次い
で「市の図書館」の割合が71.6%、「鎌倉芸術館」
の割合が63.8%となっています。

回答者数 = 1,424

放課後子どもひろば・子ど
もの家・子ども会館

青少年会館

市の図書館

鎌倉文学館

鎌倉国宝館

鎌倉芸術館

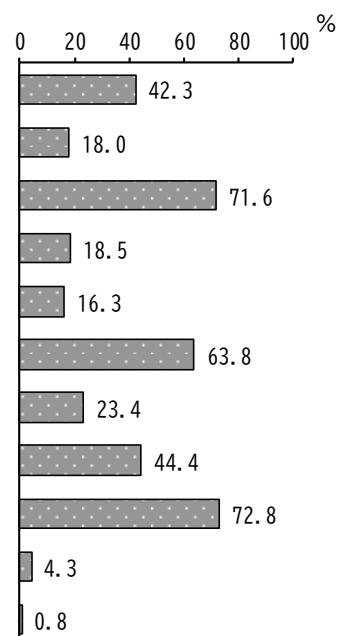
生涯学習センター

体育館などのスポーツ施設

市の公園

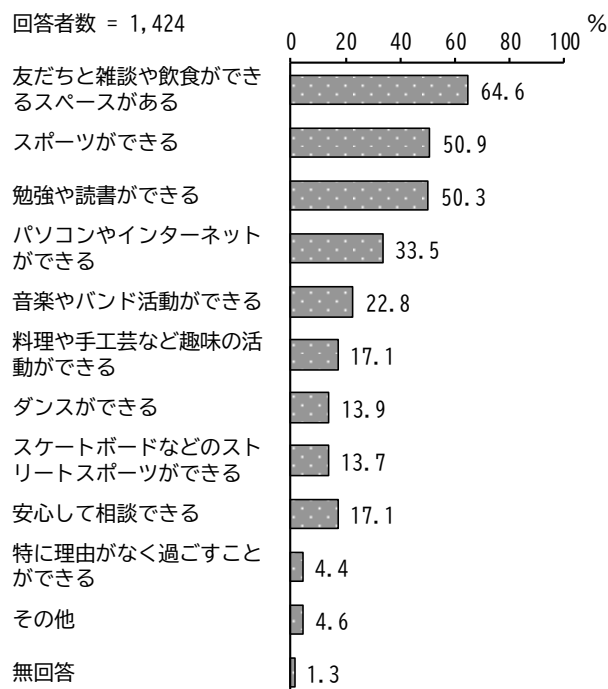
使ったことはない

無回答



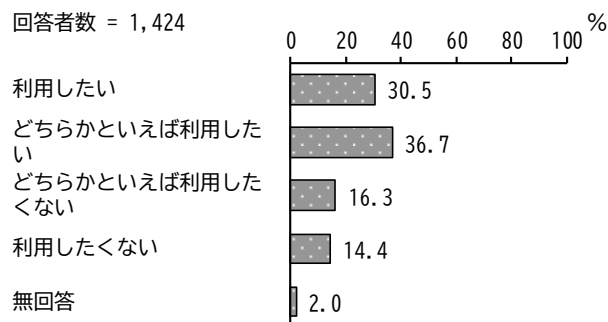
問 32 今後、施設を整備するとしたら、どのような施設がよいですか。
(あてはまる番号全てに○)

「友だちと雑談や飲食ができるスペースがある」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「スポーツができる」の割合が 50.9%、「勉強や読書ができる」の割合が 50.3%となっています。



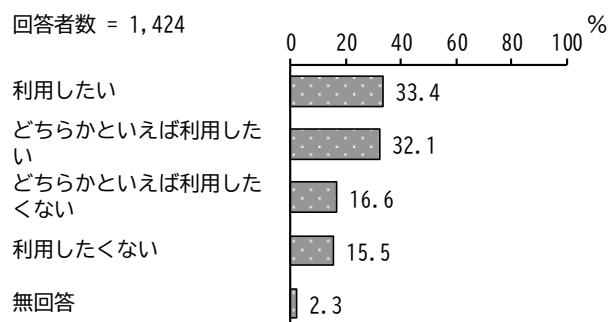
問 33 あなたは、大学生などがボランティアで、無料で勉強を教えてくれる場所があれば利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

「どちらかといえば利用したい」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「利用したい」の割合が 30.5%、「どちらかといえば利用したくない」の割合が 16.3%となっています。



問 34 あなたは、地域の人などと一緒に無料、または低額でごはんが食べられる場所(こども食堂など)があれば利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

「利用したい」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば利用したい」の割合が 32.1%、「どちらかといえば利用したくない」の割合が 16.6%となっています。



Ⅲ 自由意見

1 就学前児童の保護者

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する自由記述は873件寄せられました。それらをテーマごとに類型化したところ、「環境」に関するものが最も多く21.2%、次いで、「経済的支援」に関するものが15.6%、以下、「公園」、「保育園」、「遊び場」、「道路」と続いています。

主な意見は以下の通りです。

キーワード	件数（割合）	主な意見
保育園について	104 件（11.9%）	保育園を増やしてほしい 待機児童の解消 保育時間の延長 保育園の無償化 保育士の確保
公園について	129 件（14.8%）	公園を増やしてほしい 安全な遊具を設置してほしい 公園や広場、設備の充実
環境について	185 件（21.2%）	子育て環境の充実 施設の充実
学童保育について	22 件（2.5%）	学童施設が狭い 学童の利用料金を下げてほしい こどもの居場所の充実
小児医療等について	16 件（1.8%）	医療費の無償化 夜間、救急時の病院の充実 小児科を増やしてほしい
道路について	53 件（6.1%）	歩道の整備をしてほしい ベビーカーが使用しづらい ガードレールの設置
情報提供について	21 件（2.4%）	SNSなどで周知させてほしい ワンストップで市から提供してほしい
病児・病後児保育について	9 件（1.0%）	病児保育施設が少ない 手続き等の簡略化
一時預かり等について	21 件（2.4%）	一時預かりの充実 気軽に利用できるようにしてほしい
遊び場について	77 件（8.8%）	安全にのびのびと外で遊べる環境を増やしてほしい 室内遊び場の提供 こどもたちが遊べる場所が少ない
幼稚園について	13 件（1.5%）	幼稚園の預かり時間の延長 幼稚園の預かり体制 安全性について
相談について	10 件（1.1%）	気軽に相談できる人、場がほしい 相談窓口について
交流について	17 件（1.9%）	イベントを増やしてほしい
経済的支援について	136 件（15.6%）	子育ての経済的支援 妊娠、出産に関わる費用の無償化 教育に関する費用の無償化
その他	60 件（6.9%）	

2 小学生から高校生等の保護者

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する自由記述は590件寄せられました。それらをテーマごとに類型化したところ、「子育ての環境」に関するものが最も多く31.7%、次いで、「子育て政策」に関するものが28.3%、以下、「こどもの教育」、「放課後や自由時間のすごしかた」、「子育ての相談」、「保護者の就労状況」と続いています。

主な意見は以下の通りです。

キーワード	件数（割合）	主な意見
ご家族の状況について	10 件（1.7%）	子育てに対する意識 保護者への支援
保護者の就労状況について	12 件（2.0%）	休暇の取得について 労働時間について こどもの預け先
子育ての環境について	187 件（31.7%）	道路の整備 公園、図書館の充実 地域のつながり
子育ての相談について	48 件（8.1%）	情報提供について 相談時の体制
放課後や自由時間の すごしかたについて	49 件（8.3%）	放課後に校庭を開放してほしい 居場所について
ヤングケアラーについて	1 件（0.2%）	ヤングケアラーへの手助け
こどもの権利について	5 件（0.8%）	こどもを守る政策や制度を整えてほしい こどもたちの声を聞いてほしい
こどもの教育について	111 件（18.8%）	教育者の充実 給食の改善 不登校児へのサポート
子育て政策について	167 件（28.3%）	学費、医療費、給食費の無償化 手当て、支援の充実

3 こども（小学6年生～高校生等）本人

鎌倉市への要望やあなたの夢に関する自由記述は 692 件寄せられました。

それらをテーマごとに類型化したところ、「地域でのことについて」に関するものが最も多く 47.7%、次いで、「あなたの考えについて」に関するものが 30.5%、以下、「学校について」、「放課後や自由時間のすごしかたについて」、「ふだんの生活について」、「こどもの権利について」と続いています。

主な意見は以下の通りです。

キーワード	件数（割合）	主な意見
ふだんの生活について	27 件（3.9%）	駅にエレベーターの設置 ショッピングモール、遊び場の誘致 医療証の高校生までの使用 母子家庭に優しい市制 自習できるスペースがほしい
学校について	93 件（13.4%）	学校の清潔さ 中学校の給食が少ない 不登校のこどもたちの行き場がほしい 中学生の部活動と勉強の関係を考え直すべき タブレットを有効活用できているか
放課後や自由時間の すごしかたについて	28 件（4.0%）	総合図書館を作ってほしい 遊び場の充実 勉強ができる施設を増やしてほしい
あなたの考えについて	211 件（30.5%）	鎌倉は差別がない こども向けの政策を作ってほしい 大人の視点も交えた政策、町づくりが不可欠 ゴミ箱や自由に使えるトイレを設置 市長がこれからもより良い鎌倉を作ってほしい
こどもの権利について	3 件（0.4%）	アイデンティティ、プライバシー、人としての権利 が守られること 「こどもの権利」とは、人権のプラスα
地域でのことについて	330 件（47.7%）	自然災害に強い街を作ってほしい 公園や運動施設の充実 住宅街の街灯をもう少し増やしてほしい 道路の整備をしてほしい

IV まとめ

1 就学前児童の保護者

● 両親ともに子育てをしている家庭が増加、就労率と育児休業の取得率も増加。

お子さんの子育てを主に行っているのは、「父親・母親ともに」の割合が 69.4%と最も高く、平成 30 年度調査と比較すると、10.0 ポイント高くなっています。【問 5】

保護者の就労状況については、父親で「フルタイム（育児休業中ではない）」の割合が 96.5%、母親で「フルタイム（育児休業中ではない）」の割合が 36.5%、「パートタイム（育児休業中ではない）」の割合が 20.6%となっており、いずれも平成 30 年度調査と比べると増加傾向です。【問 6】

育児休業取得の取得については、「取得した」割合が父親で 22.7%、母親で 58.4%となっており、いずれも平成 30 年調査と比較すると、増加しています。【問 44】

● 認可保育所の利用を求める家庭が増加。

定期的にご利用したい教育・保育事業については、「認可保育所」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 43.1%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 37.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が 6.4 ポイント高くなっています。【問 23】

また、地域子育て支援事業の利用状況については、「利用している」の割合が 17.2%となっています。【問 26】

● 市の子育て支援事業について、認知度、利用者ともに多くの事業で減少。

『⑦市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑪かまくらママ＆パパ's カレッジ特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」』で「いいえ」の割合が高くなっています。これまでに利用したことがある、市の子育て支援事業については、『⑦市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『④教育センター相談室』、『⑥こどもと家庭の相談室』、『⑪かまくらママ＆パパ's カレッジ特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」』で「いいえ」の割合が高くなっています。【問 28】

● 子育てに、不安や負担を感じている人は変化がなく、悩みの内容はこどもの教育に関することや、経済的な不安が上位を占める。

子育てについての日頃悩んでいることの具体的な内容は、「こどもの教育に関すること」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が 34.5%、「子育てに係る出費がかさむこと」の割合が 34.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「こどもの教育に関すること」の割合が増加しています。【問 19】

- ヤングケアラーの認知度は 77.6%。ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応として、「関係機関に相談する」の割合が 37.8%と最も高い。

ヤングケアラーという言葉の認知度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 77.6%と最も高くなっています。【問 41】

ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応として、「関係機関に相談する」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「本人に様子を聞く」の割合が 37.8%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 29.6%となっています。【問 42】

- 「こどもの権利」の認知度は 41.9%。こどものいじめに気づいたことが「ある」の割合は約 1 割。「こどもの権利」の中で特に大切だと思うことについて、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が 50.2%となっている。

「こどもの権利」の認知度について、「名前も内容も知っている」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 36.4%、「知らなかった」の割合が 20.4%となっています。【問 47】

「こどもの権利」の中で特に大切だと思うことについて、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が 46.0%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が 37.3%となっています。【問 48】

2 小学生から高校生等の保護者

- 両親ともに子育てをしている家庭が約6割で最も高い。

お子さんの子育てを主に行っているのは、「父親・母親ともに」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 36.1%となっています。【問7】

- 母親の半数がパート・アルバイト等で就労しており、フルタイムでの就労は3割程度となっている。パート・アルバイト等で就労して母親でフルタイムでの就労を希望している人が約2割となっている。

お子さんの父親、母親の現在の働き方（自営業、家族従事者を含む）については、父親については「フルタイムで就労している」の割合が 95.7%となっている一方で、母親では 32.8%となっており、「パート・アルバイト等で就労している」の割合が 46.4%と最も高くなっています。【問9】

また、パート・アルバイト等で就労している母親で、パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する人の割合は 64.3%最も高くなっていますが、実現する見込みはないがフルタイムの就労を希望する人の割合が 21.5%となっています。【問9-3】

- 市の子育て支援事業については、認知度については『かまくら冒険遊び場・梶原／一日冒険遊び場』の認知度が高い。『市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』がよく利用されており、今後も利用希望が高い。

市の子育て支援事業については、『かまくら冒険遊び場・梶原／一日冒険遊び場』の認知度が高くなっています。【問18】

また、『市発行の子育て支援情報誌（かまくら子育てナビきらきら）』がよく利用されており、今後も利用希望が高くなっています。【問18】

- 子育てにおいて孤立感を感じている人の割合は 22.9%。子育てに関する相談で充実してほしいことについては「専門的な情報」「安心して相談できる環境（こどもの預かり、プライバシーの配慮等）」「身近な相談窓口」が上位に挙がっている。

子育てにおいて孤立感を感じている割合は、「あまり感じない」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が 25.7%、「やや感じる」の割合が 19.6%、「強く感じる」は 3.3%となっています。【問26】

子育てに関する相談で充実してほしいことについて、「専門的な情報」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「安心して相談できる環境（こどもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が 37.0%、「身近な相談窓口」の割合が 35.4%となっています。【問27】

- ヤングケアラーの認知度は 83.8%。ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応として、「本人に様子を聞く」の割合が 41.6%と最も高い。

ヤングケアラーという言葉の認知度について、「言葉も内容も知っている」の割合が 83.8%と最も高くなっています。【問 32】

ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応として、「本人に様子を聞く」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が 36.7%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 31.8%となっています。【問 33】

- 「こどもの権利」の認知度は 45.4%。こどものいじめに気づいたことが「ある」の割合は約 1 割。「こどもの権利」の中で特に大切だと思うことについて、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が 50.2%となっている。

「こどもの権利」の認知度について、「名前も内容も知っている」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」の割合が 40.6%、「知らない」の割合が 12.6%となっています。【問 35】

「こどもの権利」の中で特に大切だと思うことについて、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が 50.2%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が 36.2%となっています。【問 36】

3 こども（小学6年生～高校生等）本人

- 朝ごはんを食べない頻度が4日以上割合が1割弱、こどもだけで食べる頻度が4日以上割合が約1割。

朝ごはんを食べる頻度については、「ほとんど毎日食べる」の割合が85.6%と最も高いが、「週2～3日は食べる」割合が3.5%、「ほとんど食べない」割合が5.8%となっています。

【問7】

また、夕ごはんを18歳以下のこどもだけで食べる頻度については、「ほとんどない」が68.4%と最も高いが、「ほとんど毎日」が7.4%、「週に4～5日」が3.9%となっています。

- ヤングケアラーの認知度は5割弱、自身がお世話している割合はごくわずか。

ヤングケアラーという言葉の認知度については、「言葉も内容も知っている」割合が48.4%と最も高くなっているものの、「知らない」の割合も34.8%と低くない状態となっています。

【問18】

自分の勉強時間や遊ぶ時間を削ってでもお世話をしなければいけない家族の有無については、「いる」の割合が1.3%とごくわずかとなっています。【問19】

- 悩み・心配事としては将来や進路、勉強のことの割合が高い。相談できる相手は家族のおとなの割合が高く、特にいないが1割弱。

今悩んでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることについては、「特にない」をのぞくと「将来・進路のこと」の割合が32.0%、「勉強のこと」の割合が25.6%と高くなっています。【問21】

心配事や悩みがあるとき誰なら相談できそうかについては、「家族のおとな」の割合が69.5%と最も高くなっています。また、「特にいない」が9.3%となっています。【問22】

- 地域活動へ参加したことがない割合が5割弱、希望する施設は友だちと雑談や飲食できるスペースが6割強で最も高い。

地域活動への参加状況については、「参加したことはない」の割合が44.6%と最も高くなっています。次いで「地域のお祭り、盆踊り」の割合が43.1%となっています。【問29】

今後整備を希望する施設としては、「友だちと雑談や飲食ができるスペースがある」の割合が64.6%と最も高く、次いで「スポーツができる」の割合が50.9%、「勉強や読書ができる」の割合が50.3%となっています。

- こどもの権利の中で特に大切だと思うこととしては「自分の考えを自由に言えること」が4割強で最も高い。

こどもの権利の中で特に大切だと思うこととしては、「自分の考えを自由に言えること」の割合が44.5%と最も高く、次いで「住み場所や食べ物があること」の割合が40.0%、「親や家族と一緒に安心して生活できること」の割合が30.3%となっています。

鎌倉市
(仮称) 鎌倉市こども計画（第3期鎌倉市
子ども・子育てきらきらプラン）
の策定に向けたアンケート調査
結果報告書【概要版】
令和6年（2024年）3月
鎌倉市こどもみらい部こども支援課
〒248-8686 神奈川県鎌倉市御成町 18-10
TEL:0467-61-3891
FAX:0467-23-8700